

シンガポール便り 80

2016年7月28日 三好 隆志

乗り物

今回は、私の好きな自動車の話題です。マンションには、たいてい地下駐車場があります。HDB（公団住宅）は、平面駐車になります。そして、どこに停めても自由というマンションが多いようです。右の写真は、10ある棟の中の、私の棟の真下の駐車場です。ちょうど、ランボルギーニが駐車していました。いつもカバーをしていましたが、この時はカバーが外れていました。この自由な駐車というのが、マンションによっては争い事になるみたいです。各戸1台はスペースがあるのですが、家族全員が車を所有していたりすると、スペースが足りなくなってしまうからです。まあ、カローラでも1000万円もするので、私には関係のない話ではありますが。

こんな事情ですから、車は高級品であり富の象徴です。また、10年で600万円もする所有権を買いなおさないといけません。だから、10年以上の古い車はあまりありません。それで、スクールの多いシンガポールでは、その後に洗車場に行く車の列ができます。洗車場は、ガソリンスタンドにあります。そして、洗車機の中で手洗いをしています。「HAND WASH」とか、「NATURAL CAR WASH」の看板が出ているのです。たぶん洗車機だと傷がつくから嫌がられたのでしょうか。働いている人は、バングラデシュやミャンマーからの出稼ぎ労働者たちだそうです。値段は、500円くらいで、室内の掃除も頼むと300円ほど追加料金です。また、ワックスは3000円くらいするようです。

右の写真は、電動キックボードです。約8万円くらいです。最大時速35kmで一度の充電で30kmキロ以上走行可能だそうです。でも、歩道を走って来るので危険だと思います。

最後の写真は、電動一輪車です。バランスよく乗っているのを見ると、すごくかっこいいです。また、セグウェイの小型版で、ハンドルバーがないものもあります。ただ、自動車と共に走っていたり、歩道をかなり早いスピードで乗っていたりするため、事故が多いのではないかと思います。日本だと、許可されないでしょう。こちらでは、自己責任でファッション感覚の乗り物となっているようです。



シンガポール便り 79

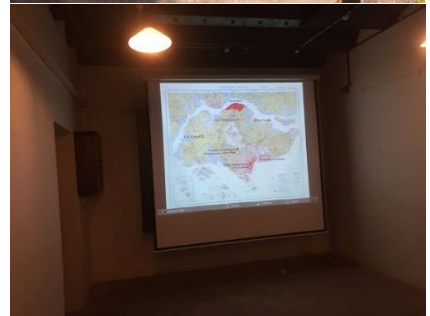
2016年7月15日 三好 隆志

バトルボックス

バトルボックスと呼ばれる、第2次世界大戦の地下要塞に行きました。それは、日本人がよく行く明治屋などが入った、リャンコートと呼ばれるショッピングモールのすぐ近くに 있습니다。明治屋は、シンガポールで日本の品物が一番そろっているスーパーマーケットです。地下要塞の上は、フォートカニングパークと呼ばれる、小高い丘の公園になっています。

この地下要塞が作られたのは、1930年代だそうです。その当時シンガポールを統治していたのはイギリスです。陸海空全てを統括し、シンガポールを防衛する地下指令室として作ったそうです。戦後、このバトルボックスは封鎖されていましたが、1988年に再びその存在が明らかになり、一般公開されました。しかし、2012年から再度封鎖され、今年3月からリノベーションをしながら一般公開を再開したのです。ただし、私たちが訪れた時も、あちこちで工事をしていました。

このバトルボックスは、地下9mのところにあります。無線室や空気浄化室や暗号室や作戦会議室など、29もの部屋があります。蠟人形によって、当時の様子が生々しく再現されていました。通信機や壁やドア、落書きまで当時のままにしてあるのです。このバトルボックスの入場料は18ドルですが、入場はガイド付きのツアーだけに限られます。全て英語で約1時間の見学ですが、日本人学校から46人で申し込んだため、2グループに分かれ、それぞれ2時間近くも熱心にガイドをしてくれました。シンガポール連合軍と日本軍と、どちらが善い悪いではなく、何があったのか事実を正確に伝えるということを大切に、戦争に対する判断は訪れる人にゆだねているように思いました。



さて、実際にこのバトルボックスが役割を果たすことになったのは、1942年2月7日から15日にかけて行われた、たった1週間のことでした。1941年の暮れにマレーシアに侵攻した日本軍は、破竹の勢いでマレー半島を南下しました。日本軍は、18000の自転車部隊や240台の小型戦車で密林を駆け抜けたのです。シンガポールでの兵力は、英連合軍が12万、日本軍が5万でしたが、日本軍は次ぐ次に前線を突破し、ブキティマの弾薬と武器庫を占領しました。また、水源も支配しました。食料も弾薬も底をつき始め、ドイツとの戦いで本国からの援軍も望めない状況だったため、パーシヴァル中將は他の司令官たちと協議し、このバトルボックスで日本軍に降伏することを決断したのです。



シンガポール便り 78

2016年7月10日 三好 隆志

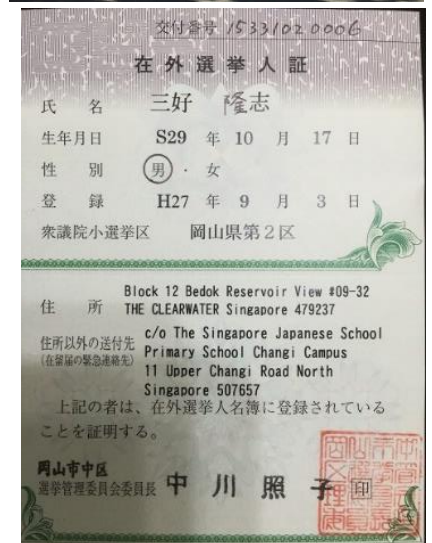
国外選挙

第24回参議院通常選挙に伴う在外投票が行われました。国内の投票日は7月10日でした。シンガポールで投票を行う方法は、2つありました。

まず、「在外公館投票」です。つまり在シンガポール日本国大使館に出向いて投票する方法です。私は、今回この方法で投票しました。それには、『在外選挙人証』および『パスポート』か、パスポートに代わる顔写真付きの公的機関発行の身分証明書類が必要です。私は、パスポートを持参しましたが、友人は労働許可証を持って行きました。投票期間は、選挙の告示日の翌日から選挙日の1週間前まででした。投票時間は、現地時間の午前9:30～午後5:00まででした。土曜日や日曜日も行っていたため、私は、7月3日の日曜日に行きました。大使館は、オーチャードから歩いて10分ほどの小高い丘にありました。思ったより小さな建物ですが、環境は静かで高級住宅街でした。ふだんは駐車場になっているところに、仮設のテントを建てて行っていました。係りの人が15人くらいで、投票に来ていた人も同じくらいでした。もっと混みあっているかと思っていましたが、スムーズに投票できました。本人確認や、投票用紙を地元の県に送る速達封筒の用意、全国すべての候補者が記載されている冊子の確認などで、20分ほどかかって終了しました。

次に、郵送方式があります。それは、選挙管理委員会から送られてきた投票用紙に記入し、国内投票日の7月10日(日)の投票所閉鎖時刻(原則午後8時)までに、選挙管理委員会に届くよう個人で郵送します。大使館に行くことが難しい人は、この方法で投票することになります。

最後に、『在外選挙人証』を取得の方法です。まず、登録資格は満18歳以上の日本国民で、シンガポールに継続して3ヶ月以上居住していることが必要です。また、住民票の転出届を提出済みでなければいけません。申請は、本人が大使館の領事部で直接行います。郵送による申請はできません。申請後、在外選挙人証の交付には、登録申請書を大使館から日本国内の市区町村選挙管理委員会宛に送付してから概ね2～3ヶ月程度を要します。だから、選挙前に慌てて登録申請をしても在外選挙人証の取得が間に合わないこととなります。申請手数料はかかりません。今回から、18歳以上の選挙ということになり、若者に政治に関心をもってもらうことが大切です。だから、教育者として率先して海外からも一票を日本の政治に反映させたいと思っています。



イスラム教徒の人々にとって1年で一番おめでたい日、ハリラヤ・ファサ。今年は、7月6日です。さて、ハリラヤ・ファサとは、どんな日なのでしょう。すこし勉強してみましょう。

1. ハリラヤ・ファサって何だろう。

ハリラヤ・ファサとは、イスラムの断食明けをお祝いするお祭りの日です。ハリラヤ・ファサの意味は、マレー語で「偉大な断食をお祝いする日」です。イスラム教を信仰する人々は、1ヶ月間の断食（ファサ）を行います。



この1ヶ月のことを「ラマダン」といい、ラマダンが終わった次の日がハリラヤ・ファサとなります。この日は、多くの人が新調した服装で出かけたり、家の装飾替えや大掃除をしたりするそうです。なんだか日本のお正月のようですね。

2. 「ラマダン」ってどんな行事？

ラマダンとは、イスラム暦の9番目の月（2016年は6月6日から7月5日頃）。預言者ムハンマドという神からの啓示を授かった、神聖な月とされています。この



ラマダンの月に行われるのが断食。①食べ物のありがたみを知る。②貧しい人々のことを考える。③忍耐強さを身に付ける。④信仰心を高める。など断食には様々な意味が込められています。

3. いつから いつまで 断食するの

断食をするのは、日の出から日の入りまで。（より正確に言うと、夜明け前のお祈りから日没後の祈りまで。日没後すぐの食事は、まず水やジュースなどの水分、それに栄養価の高いデーツ（ナツメヤシの実）、ゆで卵、菓子などの軽食をとります。その後で、揚げ物や甘いものなど、ふんだんに盛り込んだ豪華な食事を、家族や友と楽しむのです。

小さな子どもや、病気の人、妊娠中の人などは、断食をしません。日没後に食べる料理を昼間のうちに調理する場合は、子どもが味見をするそうですよ。



デーツ（ナツメヤシの実）

4. シンガポールでイスラム教を味わってみよう。

シンガポールの先住民族の多くは、マレー系イスラム教徒で、人口の約14%がイスラム教徒です。イスラム教徒は1日に5回礼拝（サラート）をします。毎日、礼拝をしている人は心が安らぎ、その後の仕事がかかどるといわれています。礼拝は、家の中でも、畑でも、どこでも構いません。しかし、時間的に余裕があれば、礼拝堂（モスク）に行き、集団礼拝に参加しなければなりません。

シンガポールには、様々なモスクがあります。

サルタンモスク(アラブストリート)



イスラム教徒の礼拝だけでなく、旅行者に開放されている、シンガポール最大の5000人が入るモスク。1824年に建てられました。イスラム教という宗教や文化が学べる博物館さながらのスポット。祈りの時間になると、祈りの声のアラブストリートに響きます。お祈りの時間以外は、観光客も中に入ることができます。

アブドゥル・ガフル・モスク(リトルインディア)



月と星がモチーフがとても可愛いモスクです。ムーア式と南インド式を融合したもので1910年に建てられました。

マラバー・モスク(ブギス)



1963年に建てられた、およそ2万枚のブルータイルを使った外観が美しいモスクです。

ジャマエ・モスク(チャイナタウン)



シンガポールの古いモスクのひとつで1826年に建てられました。ペパーミントグリーン色のミナレットは多民族文化シンガポールを反映した色だといわれています。

モスクに入る前には、手足を清めてから、入ります。

- ①両手を手首まで3回洗う。右手、左手の順に洗う。
- ②水で口を3度すすぐ。 ③鼻を洗う。 ④顔を3回洗う。
- ⑤前腕を3回洗う。 ⑥額から首までさっと撫でる。次に親指で耳の回りを撫で、耳の中も拭く。
- ⑦足首から爪先まで、先に右足、左足の順に洗う。

タバコ

今回は、タバコの特集です。日本では、もう10年以上前から学校の敷地内でタバコを吸うことはできなくなりました。愛煙家の教職員は、しだいに肩身が狭くなり、急激に減っていききました。私は、初めからタバコは吸わないので、その時の苦しみは分かりません。しかし、健康には良いはずで、結果的には長生きできてめでたしということだと思います。たばこ産業の「平成26年全国たばこ喫煙者率調査」によると、成人男性の平均喫煙率は30.3%だそうです。約50年前は、80%以上が喫煙者でしたから大きく減少したことになります。成人男性の喫煙率は、減少し続けていますが、成人女性の平均喫煙率は9.8%であり、ほぼ横ばいといった状況だそうです。

さて、喫煙に対してはシンガポールも厳しい政策を取っています。政府によると喫煙率は、1992年の18.3%から2013年に13.3%にまで低下したそうです。それは、国家環境庁(NEA)と健康促進庁(HPB)が中心となり、厳しいガイドラインの制定や法律による取り締まりを行っているからです。室内は、ほとんど禁煙となっていますし、駅の構内やタクシーの中も禁止です。禁煙スペースで喫煙すると、最大でなんと1,000ドル(約8万円)の罰金が課されます。年間で5,000枚近くの違反切符が切られているそうです。また、タバコのポイ捨ても犯罪行為になります。これは、チューインガム同様に有名な話です。ただ、街のあらゆるところにゴミ箱が置いていて、その上に灰皿があります。だから、捨て場に困ることはありません。だから、街では歩きながらタバコを吸う人を見かけることもしばしばです。驚くのは、タバコのパッケージです。全てのパッケージには、癌や肺疾患や中毒や流産など、タバコによってもたらされる健康被害の写真が大きく印刷されているのです。

さて、タバコは、コンビニかスーパーで売っています。タバコの値段は日本でも非常に高くなってきていますが、シンガポールでは11~13ドル/箱です。日本円で800~1,000円もします。それでは、日本から持ってきた場合はどうでしょう。タバコは、免税対象には一切ならないため、必ず「赤色レーン(レッド・チャンネル)」で申告を行わねばなりません。持込み制限は、個人使用の場合400g(2カートン)までで、税金は1箱に対しおおよそ85ドル(約600円)です。だから、シンガポールで買うのと結果的に同じような値段になってしまいます。また、持ち込んだタバコは、税関で発行されたその証明書を持ち歩かないと吸えないようです。



シンガポール便り 75

2016年6月25日 三好 隆志

トピックス

今回は、日本からのイメージとは違うようなことを特集しました。

まずは、運動場にラインを引く作業です。ソフトボール投げのラインを5カ所引きました。日本と違うのは、運動場が芝生のため、石灰のラインが引けないことです。それで、右の写真のように、たくさんの職員が1mごとに並んで、スプレー缶でラインを引きます。これで、30本以上もスプレー缶がなくなります。スポーツテストは、1週間にわたって全学年が実施しますが、せっかく引いていたラインも、スコールがやってくると消えてしまいます。また、たまに芝刈りで消えてしまうこともあります。日本では、芝生の運動場があまりないでしょうが、天然芝にどのようにラインを引いているのか見てみたいです。

次は、バスの空調です。だいたい右のような吹き出し口があります。日中の外気温は、30℃を超えるため、バスに乗ったら吹き出し口を自分の方に向けます。夜や長時間乗る時は、温度設定が低く18℃だったりするため、吹き出し口を他の方向に向けたり閉じたりします。エアコンがよく効いているため、バスの窓ガラスはくもって結露しています。最近のバスは、下の写真のように吹き出し口の見当たらないものもあります。私は、冷房に弱くないため、半袖で乗っていますが、写真のように、長袖の人がほとんどです。特に、中年以上の女性は、何枚も重ねて着ていたりカーデガンをかけていたりします。

最後は、バスの表示です。シンガポールのバスは、車内アナウンスがありません。だから、初めて行く場所では、降りるところをドライバーに聞かなければいけません。最近、新しいバスに乗ると、写真のような電子掲示が設置されるようになってきました。ちなみに、MRT（電車）は全て電子掲示があります。また、中国語と英語のアナウンスもされています。ただし、発音は難しく、例えば私の最寄りの駅は「Bedok」で、日本語のカタカナ表記では「ベドック」となりますが、実際は「ブドック」と発音されています。



フラナカンってなあに! ? ニョニャって?

シンガポールに住んでいると、「プラナカン」という言葉を耳にしませんか。「プラナカン」とは一体、何を意味するのでしょうか。今月のチャンギタイムスは、「プラナカン」についての特集です。

フラナカンとは…?

中国やインドなどから貿易（ものを売ったり買ったりする仕事）でやってきた商人とシンガポールを含むマレー半島に住む人との間に生まれた子どもたちや子孫のこと。



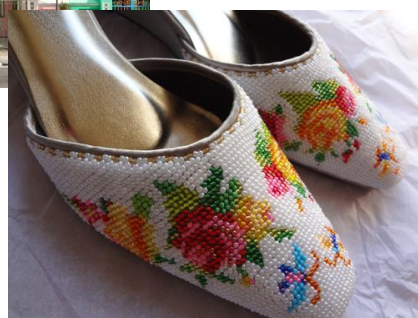
色や柄の美しいこのような食器を見かけたことはありませんか。これは、プラナカンの人々が使っていた食器で、「ニョニャ・ウェア」と呼ばれているものです。

「ニョニャ」とは、プラナカンの女の人のことです。男の人は・・・? 「ババ」と呼ばれています。

この服は、ニョニャが着ている伝統衣装「サロン・ケバヤ」です。「サロン」がスカート、「ケバヤ」がブラウスです。シンガポール航空のCAの方のユニフォームもこのサロン・ケバヤを基にしています。



プラナカンの人たちが住んでいた家です。2階建てのこのような建物が今もシンガポールに多く残っていますね。



ニョニャたちは、ビーズの裁縫がとっても上手だったそうです。素敵なビーズ刺繍の靴にうっとりします。

フラナカン料理を食べてみよう！

フラナカン料理は、マレーシアや中国の調理法や、インドやタイ、ヨーロッパのスパイスまでも取り入れた味わい深い料理です。フラナカンたちは、美しい「ニョニャ・ウェア」に料理を盛り、フラナカンの食文化を伝えてきました。



フラナカン料理の代表、「アヤム・ブアクルア（鶏のブラック・ナッツ煮込み）」。ブラック・ナッツには毒があるため、洗って茹でて、灰とバナナの葉、土を重ねたものに40日間埋めて、毒抜きをする必要があります。スパイスとともに煮込まれた鶏は、ピリッと辛くてとても美味しいです。

フラナカン料理の前菜、「クエ・パイティー」。タルトのような小さなカップの中に、大根の甘煮や錦糸卵、小エビなどが入っています。見た目も可愛らしいですね。華やかさを好んだフラナカンの感覚が生かされた料理です。



フラナカン料理の代表的なデザート、「サゴ・プディング」。サゴはタピオカを意味します。こんもりと盛られたタピオカに、パームシュガーのシロップとココナッツミルクをかけたもの。濃厚なパームシュガーの甘さが、タピオカに良く合います。



ホーカーでも食べられる「ラクサ」も元々はフラナカン料理です。シンガポールのラクサのスープは、ココナッツミルクをベースにしたものが中心。太めの麺に、エビや貝、揚げ豆腐などがたっぷり入っています。チリの辛さを、ココナッツミルクがマイルドにしています。



いって来よう！フラナカン博物館へ♪

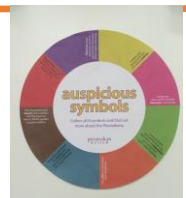


住所：39 Armenian street Singapore 179941

フラナカンについて、興味がある人は、MRT「シティーホール」駅のそばにある、フラナカン博物館に行ってみてはいかがでしょうか。

100年以上前に建てられた学校を利用しているこの博物館は、外観も建物の中も大変美しいです。平日には、日本語ガイドの方の説明を聞きながら見物できるので、夏休みなどに行ってみるといいですね。

スランブラリー
も楽しいよ！



シンガポール便り 73

2016年6月15日 三好 隆志

手紙

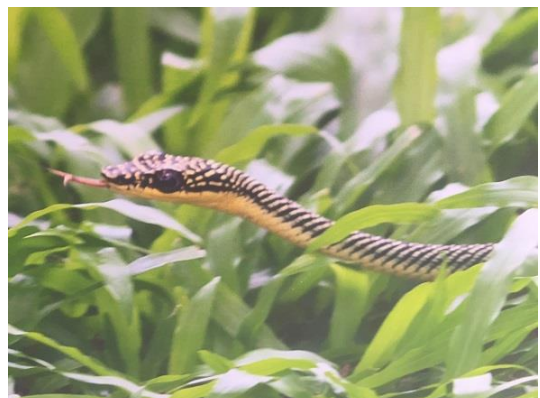
鈴木 敬史

ゆうびんやさんが こない日でも
あなたに とどけられる
手紙はあるのです

ゆっくり 過ぎる
雲のかけ
庭にまいおる
たんぽぽの わた毛
おなかをすかした
のらねこの声も
ごみ集めをしている人の
ひたいの汗も・・・
みんな 手紙なのです
読もうとさえすれば

山越校長の後を受けて、今年度から派遣された池端校長は、理科が専門の方です。お休みの日に、学校の植物をカメラとノートを持って、観察して回られていました。「長時間だと熱中症になりますよ。」と声をかけても、夢中で観察を続けておられました。上の詩は、全校朝会で子どもたちに読んで聞かせたものです。ご自身の住まいの近くに、パシリス公園があります。そこでも、散歩をしながら観察をされ、カワウソやムツゴロウやカワセミなど、たくさんの生き物の写真を子どもたちに見せてくれました。

私も、いつの頃からか詩のような手紙の存在に気が付きました。自分のことだけに一生懸命だった若い時には分からなかった感覚です。それは、親になり子どもを育ててみて、自分の親の気持ちを理解することができた頃かもしれません。親への感謝の気持ち、やがて周りの人への感謝の気持ちとなり、美しい季節が巡る自然への感謝となってきました。それ



は、教職という素晴らしい職業への感謝ともなってきました。昨日、転校していく保護者が、新しいチャレンジに希望をもちながらも、私との別れを惜しんで泣いてくれました。日本では、若く厳しい先生の指導に、荒れてつらい思いをされたそうです。子どもたちは、かけがえのない存在です。そこにいてくれることに感謝し、悩みに寄り添い、自分も成長しようとするのが大切だと思います。一人の人間として認め、可能性を信じることで、教育（共育）は成り立つと思います。まして、海外で不自由な生活を強いられている子どもたちに、未来の日本をリードする国際性豊かな人へと導く仕事は、とてもやりがいのあることだと思います。担任している子どもたちだけでなく、学年の子どもたち、そして全校の子どもたちに、充実した学校生活を送ってもらえるように、これからもがんばってまいります。



シンガポール便り 72

2016年6月10日 三好 隆志

Panasonic の野菜工場の見学に行きました。場所は、チャンギ校があるシンガポールの東端とは反対の、TUAS 工業団地というシンガポールの西端になります。Panasonic というと TV などの電気製品のイメージで、野菜工場という分野に進出されているのは意外でした。工場は、近代的な建物で、野菜畑とは全く違う環境でした。

まず、野菜工場を始めたきっかけを聞きました。それは、気候変動や農耕に適した土地の減少、重労働による働き手の減少など、世界的な食糧危機が迫っている現在、企業として役に立ちたいという思いからだったそうです。そうは言っても、日本では大都市近郊に野菜栽培が確立され、野菜の少ない時期には高原野菜など、特色のある生産と供給がなされていて危機感はありません。一方、シンガポールではほとんどを輸入に頼り、美味しい野菜をシンガポール国内で調達するのは難しい状況です。特に、遠距離輸送が難しい野菜は、隣国マレーシアのキャメロンハイランドという高原野菜を輸入しています。しかし、気象状況や価格変動で、安定した供給とは言えない状況があり、足らなかつたり余ったものが捨てられることもあるそうです。これに、シンガポール政府の8%しかない食料自給率を何とか上げたいという要望もあって、この分野の農業開発を2013年から始めたということでした。

会議室での説明の後には、工場を見学しました。1000㎡の工場は、赤と青のLEDライトによってレタス・ミニトマト・大葉・三つ葉・ミニ大根・カブ・ラディッシュ・ほうれん草など約30種が育てられていました。赤の光は、野菜の成長を促します。それに対し青の光は、栄養価を上げる働きがあるそうです。温度は約20度、一定の安定した環境設定で、レタスだと35日で収穫されます。普通、野菜工場と言えば水耕をイメージしますが、土耕栽培をされていました。これは、根菜も栽培が可能になるからだそうです。また、寒暖差など栽培が難しいフルーツは、取り扱っていませんでした。



この栽培方法での有利な点は、まず虫などの混入がないということです。また、病気もないため、無農薬栽培ができます。天候による被害もないため、安定した供給が「」できます。もちろん、地元で生産しているため新鮮です。コストは、サラダボールとして販売している従来の物が約400円ですが、100円ほど割高になります。しかし、オーガニック野菜よりも若干安く、安全性や新鮮さを考えると十分商品力があると言えます。現在は、フェアプライスなどのスーパーマーケット、シンガポール航空、マリーナベイサンズ、明治屋、伊勢丹などで販売しています。

最後に試食をさせていただきました。新鮮でパリパリし甘味がありました。シンガポールの7割以上を占める中華系住民は、生野菜を食べる習慣がありません。しかし、最近の健康ブームで若い世代は徐々に生野菜にも目が向いてきています。新鮮安全でおいしい野菜工場が、さらに知名度を上げていくことでしょう。これは、ESDの精神であり、未来の接続可能な農業の姿だと感じました。



シンガポール便り 7 1

2016年6月5日 三好 隆志

私の受け持つ5年生に、ラグビーの最高峰スーパーラグビーのSUNWOLVESに所属する大野均選手と稲垣啓太選手が来てくれました。私は、高校時代にラグビー部に所属していました。また、5年生の主任は大学時代もラグビーをしていました。そして、シンガポールでもラグビーをしているそうです。だから、5年生の学年目標は、「スクラム」～力を合わせて～です。そのような関係で、5年生に来てくれることになったわけです。稲垣啓太選手のポジションは、スクラム1列目のプロップです。私は、その隣のフッカーでした。大野均選手は2列目のロックです。日本代表でもある両選手（前回ワールドカップの南アフリカ戦でも出場されていました。）の100kg以上ある大きな体を見て、子どもたちはみんな驚いていました。

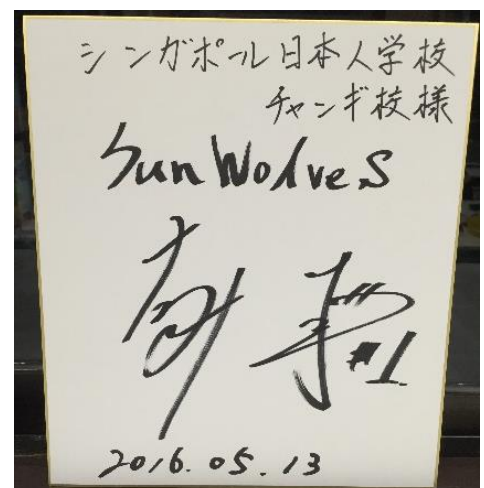


さて、ほとんどの子がラグビーを経験するのは初めてです。5年生でラグビーをしている子どもは、女子が1名だけでした。だから、ラグビーの試合は15人でやることや、どんなポジションがあるのか、ボールを後ろに投げてはいけないなどの基本的なルールの説明を聞きました。その後の質問コーナーでは、子供たちのいろいろな質問がでました。「どうやったら体を大きくできるのか。」という質問では、大野選手は「好き嫌いなく何でも食べる。北海道出身だから、牛乳を水の代わりに飲んでいました。」稲垣選手は「1日6回食事をとっています。」と答えてみんな驚いていました。



また、「試合でぶつかり合うとき痛くないのですか。」という質問では、「試合の時は、集中しているので、痛くありません。」ときっぱり言い切っていました。それを聞いて子どもたちからは、ざわめきが起きました。「でも、試合が終わると体のあちこちが痛くなります。」と言われ、プロの厳しさを感じました。

それから、ラグビーを始めたきっかけや、止めたくなったことはないかなどと質問が続きました。「とてもハードな練習に、行きたくないと思ったことはあるけれど、自分で選んだ好きなラグビーだから、最高のステージでできることは幸せで、止めようと思ったことは一度も無いです。」と話されました。



最後にラグビーボールを使って、パスの練習を全員で行いました。みんな、ラグビーボールを触るのが初めての子ばかりで大興奮でした。それに、それぞれのクラスには大野選手や稲垣選手、シンガポールのクラブチームのコーチ、そして校長先生や教頭先生と一緒に、パス競争や投げ方の基本を教えていただくことができました。その後の、子どもたちの日記から感想を紹介します。

「ガッキーさんは、ご飯を1日6回食べていま

した。体重を増やすためにそんなに食べることがすごいと思いました。わたしは、おやつなら6回食べられますが、ご飯は食べられません。」

「ラグビーは、初めての経験でした。ボールがつかみにくく、パスで間をとばしてジグザグにしていくのは頭を使わないとまちがえやすいと思いました。握手をしたら、手がすごく大きかったからびっくりしました。」

その道を究めている人の話には、すごく重みがあります。今回の体験は、子どもたちにとって、自分の生き方や集団での生活で大切なことをたくさん学べた気がします。それぞれの思いをクラスみんなで共有し、クラス力を高めていきたいと感じました。

次の日は、国立競技場でサンウルブズと南アフリカの試合を観戦しました。日本チームは、全15試合のうち、ホームゲーム8試合を秩父宮ラグビー場などで開催し、残りの3試合はシンガポールで開催することになっています。たぶん、日本は南アフリカなどからは遠いから、シンガポールが選ばれたのではないのでしょうか。国立競技場は、2014年にできた新しい施設で、収容人数は約5万人です。ドーム型で天然芝と人工芝がミックスされているということですが、管理が難しそうです。サッカー全日本のサムライブルーが、ワールドカップ予選のシンガポール戦で来た時も観戦しましたが、岡山にいたらなかなか行けないのでラッキーだと思います。ただ、ラグビーはシンガポールにプロチームがないため、あまりポピュラーではなく、観客は9,000人くらいでした。私は、間近に見る肉弾戦のすごさに圧倒されてしまいました。試合結果は、大健闘して引き分けでした。写真は、監督とキャプテンのサイン入りのユニフォームです。



シンガポールのアフタヌーンティーとハイティーって??

昔、シンガポールはイギリスの国の一部だったことを知っていますか？ その影響で、今でもシンガポールには、イギリスの古きよきコロニアル文化が息づいています。その1つが、アフタヌーンティーとハイティーの習慣です。シンガポールには、イギリス式のアフタヌーンティーとハイティーに、東南アジアらしさを織り交ぜた、独特のティータイムを実施しているところが数多くあります。シンガポールのアフタヌーンティーやハイティーとは一体どんなものなのでしょうか。

アフタヌーンティーとハイティーって、何がちがうの？

○アフタヌーンティー

もともとアフタヌーンティーとは、イギリスの上流階級の人々が午後に行う「お茶会」のことを言いました。サンドイッチやスイーツと共に紅茶と会話を楽しむ、貴族たちの優雅な時間であったようです。現在では、3段式のティースタンドに、サンドイッチやスコーン、ケーキや焼き菓子などがのっているのが特徴です。



カペラホテルの3段式ティースタンド

○ハイティー



ラッフルズホテルのビュッフェ

一方で、ハイティーとはイギリスの庶民的な「軽い夕食」のことを言いました。労働者階級の人々の食事に起源をもっており、紅茶と共にビュッフェ形式で料理を楽しむのが特徴です。シンガポールでは西洋風のオードブルだけでなく、飲茶やカレー、ニョニヤ料理などバリエーションに富んだ独特のハイティーを体験することができます。

ただし、現在では、アフタヌーンティーでもビュッフェ形式が取り入れられたり、ハイティーでも3段式のティースタンドが提供されたりと、はっきりとした区別はなくなってきているようです。また、このようなイギリス式ティータイムを行っているホテルラウンジなどでは、平日はアフタヌーンティー、休日はハイティーと区別しているところもあります。これらの値段は5,000円前後と高めですが、贅沢な気分を味わい、自分にご褒美をあげるような時にはとてもいいものです。ホテルやお店を比べていくのも、お気に入りのお店に一つも行くのもうれしいものだと思います。

シンガポールならではのティータイムがあるの？

○中国茶と共に楽しむティータイム

ティータイムの習慣は、もともとイギリスで生まれたものですが、中華系の方が多いシンガポールでは、中国茶を使ったオリジナルのアフタヌーンティーを体験することができます。季節ごとに選ばれた本格的な中国茶を楽しむことができ、餃子や小籠包などの点心や、お茶菓子がついてくるのが特徴です。

どんなところへ行けばいいの？

イギリスに起源をもちながら、独自の発展を遂げたシンガポールのティータイム。いかがだったでしょうか。最後に、シンガポールにある有名なティーラウンジをいくつか紹介したいと思います。ぜひ、優雅なひと時を過ごしてみてくださいね。



チャイナタウンにある「ティー・チャプター」

○「チフリー・ラウンジ」@リッツカールトン・ミレニア

アメリカ人彫刻家・チフリー氏のガラス彫刻が飾られている広々とした空間で、ゆったりと過ごすことができます。平日に行われるアフタヌーンティーではコース形式、週末はビュッフェ形式のハイティーに変わります。

住所：3F The Ritz-Carlton Millenia, 7 Raffles Ave.

アクセス：MRT プロムナード駅より徒歩5分



○「TWG ティー・オン・ザ・ブリッジ」@マリーナ・ベイ・サンズ

シンガポール発の紅茶ブランドである「TWG」。マリーナ・ベイ・サンズ内には2つのティーサロンがあります。15~18時のティータイムには、紅茶にケーキやサンドイッチを合わせたセットメニューを注文することができます。

住所：2 Bayfront Ave. B2-89/89A The Shoppes at Marina Bay Sands

アクセス：MRT ベイフロント駅よりすぐ



○「四川豆花飯店(シー・チュアン・ドウ・ファ)」@UOB プラザ

60階からの絶景を眺めながら、中国茶のアフタヌーンティーを体験することができます。数種類の点心に舌鼓を打ちながら、香り豊かな中国茶を楽しむことができます。

住所：80 Raffles Place #60-01 UOB Plaza.

アクセス：MRT ラッフルズプレイス駅よりすぐ



シンガポール便り 69

2016年5月25日 三好 隆志

バンコクの報告の最終編です。今回は、寺院の特集です。タイと言えば仏教であり、市内には王宮をはじめ大きな寺院があります。また、市内から1時間余りの古都アユタヤは、世界遺産に登録されています。

まず、王宮（ワットプラケオ）です。四方を約2km近い壁で囲まれた広大な敷地にあります。1782年に建設されたそうでエメラルド仏寺院などがあります。入り口には、中国からの団体客がたくさんいて、それが一日中続くそうです。門をくぐって敷地内に入ると「服装チェック」があります。ショートパンツやミニスカートやタンクトップなど、露出度が高い服装では入場できません。私の友達も半ズボンだったので、長ズボンをレンタルしました。中に入ると「回廊の絵」が目に入ります。これは東南アジア一帯で知られている「ラーマーヤナー」という物語を絵にしたものだそうです。それから、本堂へは靴を脱がないといけません。またサングラスや帽子の着用もだめだと言われました。そして、本堂の中にはこの国でもっとも重要な仏像である「エメラルド仏」が鎮座しています。とても美しいので早速写真を撮っていたら、警備員が来て残念ながら不可であると削除されてしまいました。

次は、ワットポーです。本堂には、有名な寝釈迦仏があります。全長49メートル、高さ12メートルの堂々とした姿には圧倒されてしまいました。どの方向から見ても穏やかで、慈悲深い目を向けているように思いました。



では、バンコクから約60km、車で70分ほどのアユタヤ遺跡に移動します。1991年にユネスコ世界遺産にも登録されました。アユタヤは昔はタイの中心地だった古都です。現在は首都がバンコクですが、もともとはアユタヤに都があり王朝として機能していたわけです。つまり、日本で言えば京都のような街です。チャオプラヤ一川を中心に、恵まれた水運を利用して貿易で発展したということ



です。しかし、ビルマ軍の攻撃で都市全体を破壊されてしまって滅んでしまったということです。それでも、1351年から1767年の417年間もの間、王朝として機能していたわけです。

訪れたのはまず、長い年月ののち木の根で覆われてしまった仏像の頭が残るワット・マハタートです。ここは、13世紀に建てられた重要な寺院の一つだそうです。かつては塔の頂上が黄金に輝いていたのですが、ビルマ軍の侵略により廃墟と化して、今は木の根の間に埋め込まれた仏像の頭や、頭部がない仏像、崩れ落ちたレンガの壁や礼拝堂の土台が残るのみとなっていました。ワット・ローカヤ・スターなどには、大きな寝ている釈迦仏像がありました。足の裏をさわるといいことがあるのか、観光客がみんな触っていました。

右の写真がプラ・シー・サンペット寺院 (Wat Phra Sri Sanphet) のシンボルである、3人の王の遺骨を納めたという3基の仏塔です。タイでは仏像に金箔を貼る習慣があるみたいで、金箔を観光客などに売って仏像を修繕できるため、一石二鳥だと思います。それぞれの寺院の本堂内立像には沢山の金箔が張り付けられていました。



この他に、タイではマーケットが有名です。売っているものは、食料品や衣料品やお土産など様々です。しかも、値段は劇的に安いんです。多分、世界一物価が高いシンガポールからやって来たから、そう感じるのでしょうか。200円くらいで食事ができるし、100円くらいで小物が買えます。宝探しのように掘り出し物もあります。ただ、衣料品は偽物です。平気でナイキやアディダスなどと売っています。もちろん品質は本物とは比べ物になりませんが、値段は2~3割です。また、水上マーケットも有名です。驚くことは、何と言っても小舟の上で商売をしているところです。野菜や果物がたくさん売られていました。最後は、メークロン市場です。線路まではみだして商売をしています。商品は線路の上に置かれていますが、列車が来ると各店テントの屋根を一瞬にして畳んで商品を引っ込めてやり過ごします。



シンガポール便り 68

2016年5月18日 三好 隆志

バンコクの報告が続きます。今回は、観光です。まず、市内はバイヨーク・タワーIIの高さ304m、85階建超高層ビルをはじめ、中心部には高層ビルが建ち並んでいます。そして、高級ブランドが入った伊勢丹やパラゴンなどのデパートやモールが数多くあります。また、シャングリラやシェラトンなどの高級ホテルも軒



を連ねます。ただし、昨年の夏に起こったテロの影響で、それぞれの入り口にはセキュリティーが置かれていました。タイでは現在軍事政権で治安は落ち着いているようですが、選挙などの影響でデモや暴動が起きる可能性も指摘されているようでした。海外に出ると、日本やシンガポールの治安の良さに、感謝せずにはられません。ただし、タイ国民はタイを愛し、国歌が流れると止まって敬意を表していました。また、僧侶は特別の尊敬を集めています。街に出ると、僧侶が歩く姿をいろいろな所で目にしました。



次に、タイと言えば象ですね。タイ語では象を「チャーン」と呼びます。象は、タイの人々にとって特別な存在だそうです。まず、昔は戦争で象が使われ、勇気と誇りの象徴になっています。また、林業で役立ってきたし、現在は観光業で役立っています。そして、タイの国民の9割が信じる仏教と象の関わりはさらに深く、中でも白い象はブッダの化身とされ、ブッダの前世が白い象だったという説もあるそうです。白い象は国家の威厳の象徴でもあるのです。



さて、東南アジアによく見られる花にブーゲンビリアがあります。ブーゲンビリアの花は、とても目立つ美しい色をしています。花といっても花びらではなく苞です。苞の中に小さな花のようなものが突起していますが、これは花の萼になります。ブーゲンビリアに花びらはなく、同じオシロイバナ



科のオシロイバナにも花びらはありません。中南米が原産だそうです。つる性の低木で鋭い刺があります。年中咲いている花で、日本でも観葉植物として売られています。ここバンコクには、写真のように1本の木に6種類もの色の花をつけるブーゲンビリアがありました。きれいで、みんな写真に収めていました。



シンガポール便り 67

2016年5月10日 三好 隆志

バンコクの報告が続きます。今回は、タイ料理です。

まずは、有名なトムヤムクンです。辛味と酸味、複雑な香りが特徴的な、有名なタイ料理です。その料理名は、トム(煮る)、ヤム(混ぜる)、クン(海老)の3つの言葉から成っています。材料は、主役のエビ、レモングラス、生姜、ココナッツミルク、唐辛子、チリソース、ライム汁、ナムプラー、ふくろ茸、玉ねぎ、パクチー、筍、青菜などです。



次は、タイスキです。真ん中に煙突が立ったシャブシャブ鍋か寄せ鍋に湯を沸かし、野菜や海産物、肉団子などの具を入れ、タレにつけて食べます。タレには刻みニンニク、ライムの絞り汁、唐辛子などが入っています。最後は卵とご飯を入れたおじやとか麺でしめます。「タイ風しゃぶしゃぶ」とも呼ばれますが、日本のスタイルとは違い、寄せ鍋に近いです。火が通ったところで具を引き上げますが、引き上げるために小さな金網を使います。タレをつけなくても、だしの良い味がついていて美味しいです。



次は、スズキの姿揚げレモングラス風味です。素揚げにしたスズキの上に刻んだレモングラスとバジルをのせて香り付けした料理です。スズキは、タイでよく食べられる魚のようです。他には、なまぎや雷魚を食べていました。姿を見ると引いてしまいましたが、泥臭さはなく、あっさりとしておいしいということでした。



さて、これは現地の人もあまり食べていないナムファックアオ(ナンバンカラスウリ)です。ガックフルーツとも呼ばれるそうです。利用されるのは仮種皮と種子で、もち米と炊き込んで濃い橙色の甘いおこわにすることが多いそうです。リコピンがトマトの70倍、ベータカロチンがニンジンの10倍と、とても栄養価が高く、日本ではほとんど知られていないのですが、今後注目されるフルーツかもしれ



ません。ただし、私は生で食べて、あまりのまずさに絶句してしまいましたが。

最後は、カオニャオ・マムアンです。カオニャオはもち米、マムアンはマンゴーという意味です。屋台で買って食べましたが、約120円でした。もち米をココナッツミルクと練乳で味付けしていました。タイでは、一般的なスイーツだそうです。ココナッツミルクが苦手な人は無理でしょうが、私は大好きなのでおいしくいただきました。マンゴ自体が完熟で甘く、しかも練乳が入っているのですごく甘いです。



シンガポール便り 66

2016年5月7日 三好 隆志

さて、バンコクの交通事情をレポートしましょう。

まず、タクシーです。思いのほか新しい車が多いです。これは、政府が新しい車の導入を会社に指導しているからだそうです。写真の車は、トヨタ自動車のカローラです。日本では販売していない東南アジア向けのアトラスというモデルです。色が、ショッキングピンクで派手ですね。値段は、シンガポールでも日本の半額くらいですが、もっと安くて初乗りが100円くらいでした。タクシーの乗り方は、自分でドアを開けてドライバーに行き先を告げます。OKが出たら乗り込みます。日本とは異なり、行き先や天候によっては乗車を拒否されることもあります。また、観光客に対し、高めの料金を交渉するドライバーもいますが、原則メーターで料金を計算するので、料金を事前に交渉する必要はありません。ちなみに、右の写真は燃料のプロパンだと思います。スーツケースを何個か運ぶ旅行者は、置く場所に困ると思います。



次は、バンコクの象徴的乗り物とも言える三輪タクシーのトゥクトックです。「トゥクトック」の語源は、その軽快なエンジン音からだそうです。窓がなく、熱風が直撃します。料金は交渉制で、乗る前に行き先を伝え、料金がいくらになるかを聞きます。タクシーより安い金額で交渉しますが、観光客に対しては高く請求されるようです。交通渋滞のバンコクでは、新しい登録は認められず消える運命にあるようです。



次は、モーターサイ (バイクタクシー) です。トゥクトック同様に、料金は交渉制です。ドライバーはオレンジ色のチョッキを着ており、たいていの道路の入り口にはモーターサイ乗り場があります。歩ける距離間で気軽に利用してもいいですし、車が渋滞していても隙間をスイスイ通ることができるので便利です。客は、ヘルメットをしていない場合が多く、横乗りの女性も見かけました。しっかりつかまって振り落とされないようにしないと危険だと思いました。



市内を移動した時に便利だったのが BTS (スカイトレイン) です。スクムビット線と、シーロム線の2路線があります。市内の主要なショッピングスポットなどへはこの BTS で行くことができました。多くの駅に、シンガポールと同じようにホームドアが設置されていました。将来的には、全駅での設置を目指しているそうです。BTS のメリットは「渋滞を気にしなくていい」「運賃が安い」ということで



す。バンコク都心は、渋滞がよく発生します。ふだんは20分で行く距離を、2時間もかかることがあるそうです。渋滞に関係なく走行できるBTSは、とても便利なのです。また、運賃も50円～150円で乗車できます。さて、チケットはカードを買う場合と、1回きりの場合があります。私は、1回きりのチケットを販売機で買いました。車内は時間帯により異なりますが、ラッシュ時は混みます。平日の通勤帰宅ラッシュ時には大変混みます。また、祝休日外国人旅行者が多くなることもあり、駅によっては混みます。現地の人も、あまり座れないと話していました。タイでは、シルバーシートの他に、僧侶シートがありました。さすが、仏教の国だと思いました。

最後は、パーク&ライドの取り組みです。これは、都心に流入する自動車の数を減らしたり、商業施設を中心とした周辺地域の交通渋滞を緩和することをめざすものです。スカイトレイン(BTS)や地下鉄(MRT)沿線上で、取り組みが始まっているようです。一部の商業施設では、駐車料金を利用者に負担させている一方で、駐車料金が無料の施設があるそうです。パーク&ライドを整備すれば、バンコクが改善されることでしょうか。ただし、写真のような駐車場の仕方なので、駐車場への出入りで渋滞が起こるのではないかと心配してしまいました。



シンガポール便り 65

2016年5月5日 三好 隆志

ゴールデンウィークに、バンコクへ行きました。エアアジアでの3泊4日の旅行です。シンガポールから2時間ほどと近いので、日本からのツアーより半分以下の値段になっていたと思います。ただし、格安航空は変更が不可能なため、場合によっては飛行機運賃が無駄になることを覚悟しなければいけません。実は、今回もその一手前でした。バンコク着陸寸前に、大嵐がやって来たのです。出迎えてくれたバンコクに5年も住んでいる友人が、初めて遭ったくらいの嵐だったそうです。それで、私の乗った飛行機は、急遽パタヤ近郊のウタパオ空港に着陸しました。そこで嵐が過ぎ去るのを待って、約3時間遅れでドンムアン国際空港に到着したのです。バンコクには、スワンナプーム国際空港が2007年にオープンしたのですが、格安航空の拠点として、ドンムアン国際空港は世界一位になっているそうです。3時間も遅れると、私のような待ち合わせの場合はもちろん、乗り継ぎの人が大変です。間に合わなかった場合は、チケットが無駄になってしまいます。また、私たちの後でやってきていた便は、シンガポールに引き返した飛行機もあったそうです。

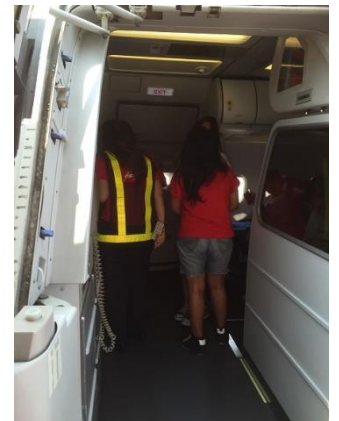
さて、バンコクはタイの首都ですが、広さはシンガポールの2倍で、人口は3倍ということでした。私の印象は、山が全くないので広いということと、タイ人は色が白いということでした。暑さは、シンガポールと同じように感じました。現地の人に尋ねてみたら、今が一番暑い季節と言われました。4～5月が暑いのはシンガポールと同じです。そして、11月～2月が比較的過ごしやすいそうです。それも、シンガポールと同じです。でも、シンガポールではその時期が雨期に当たるのに対し、バンコクは9～10月が雨期ということでした。気温が3～4度低く雨も少ないその時期には欧米人が多くやってくるそうです。それに対し、日本人はこのゴールデンウィークや年末年始、それに夏休みにどっとやってくるそうです。そして、どこに行っても団体で大挙来ているのが中国人です。日本でもそうでしょうが、紙袋にたくさん土産を買って入っている中国人を、よく見かけました。本当に、中国の景気は減速しているのかと不思議に思いました。バンコクは、マスターカードが2013年に公表した統計によると、世界で最も外国人が訪れる都市だそうです。以下、ロンドン・パリ・シンガポール・ニューヨークと続きます。東京は、何と16位だそうです。東京オリンピックに向けて、宿泊施設の整備やWi-Fi環境の整備など、外国人観光客獲得を頑張してほしいと思います。



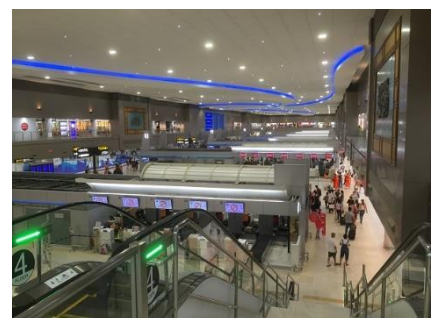
パタヤ



困って説明を求める乗客



エアアジアスタッフ



ドンムアン空港新設ターミナル

シンガポール便り 63

2016年4月5日 三好 隆志

シンガポールにも、日本の食べ物がたくさん入っています。今回はそれを特集します。

まず、たこ焼きです。右の写真のように屋台で売られています。また、専門店もあります。値段は、日本と同じか少し高いくらいです。たこ焼きの種類も、表面が柔らかいものと、最後に多めの油でカリッと仕上げるタイプのものがあります。また、中にエビやチキンやツナなどが入っていることもあります。ただ、ソースが少し違います。また、作りたてを食べるのが美味しいですが、大量に作っているのが残念ながらアツアツでいただくということが難しいです。

さて、次はスーパーマーケットの日本食コーナーです。日本みかんやイチゴ、ピワなどのフルーツと、レンコンやエノキ、白菜などの野菜が並んでいます。値段は、日本の3倍くらいです。実は、中国などからもリンゴで言うと富士などが入ってきていて、値段は安いのですが、味は断然日本の方がいいです。また、シンガポールでもオーガニック食品の人气が高まりつつあります。化学農薬や化学肥料を使わずに、水、土、大気を汚染から守るといことですが、日本の食品と同じく値段は3倍くらいします。だから、お金持ちや健康に気を付けている人や環境問題に関心がある人たちが購入しているようです。

最後は、回転ずしです。シンガポールでも寿司は人気ようです。本格的な寿司専門店から、チェーン展開している回転寿司、デパートやスーパーで販売されている持ち帰り用の寿司までたくさんあります。そして、お客さんは若い人で中華系の女性が多いです。私は、主に回転ずしを利用しています。ネタは、日本といくらか違っていています。まず、小ぶりです。だから日本より枚数が増えます。値段は、日本の倍くらいです。ネタの種類は、まぐろやサーモン、コハダ、鯉、鰯、いくらなどと巻物などです。日本より魚の種類は少なく感じます。また、シンガポール独特のネタも見かけます。例えば「CHUKA WAKAME」という昆布のようなワカメのような海藻の軍艦巻やフルーツ寿司です。寿司は基本的にサビ抜きで、わさびや生姜は皿に乗って回っています。だいたい夕食時には列ができていて、週末には1時間近く待つこともありました。だから、時間制限40分以内と書かれています。このよう

に、気軽に寿司を味わえるのはうれしいのですが、本格的な味や鮮度の日本と同じレベルを求めると、やはり寿司専門店になり、値段も1万円くらいになってしまいます。



シンガポール便り 62

2016年3月26日 三好 隆志

春休みカンボジアに旅行しました。カンボジアは人口1,600万人、首都プノンペンには人口160万人、日本人は2,000人以上が住んでいるそうです。東に位置するラオスやベトナムと同じく、フランスの植民地でした。そして、世界で一番新しいプノンペン日本人学校が、今年度開校されました。全校児童生徒数は30人ほどだと思いますが、経済発展とともに増加が予想されます。とはいえ、まだ1日を1～2ドルで暮らす低所得者が半数を占めて、西のタイや東のベトナムよりも遅れている感はいなめません。カンボジアは、長期にわたる内戦で今でも地雷が埋まっている地域があるそうです。

さて、カンボジアで有名なのが、12世紀前半、アンコール王朝のスールヤヴァルマン2世によって、ヒンドゥー教寺院として建立されたアンコールワットです。1992年にアンコール遺跡として世界遺産に登録されました。この遺跡があるシェムリアップという街は、首都プノンペンからはバスで6時間、飛行機で40分ほど離れています。シンガポールからは、タイのバンコクで飛行機を乗り継いで行きました。入国時にビザ20ドルが必要でしたが、公用旅券はビザ不要と言われました。この街は、人口30万人くらいで、主に観光で成り立っています。市内には、200ものホテルがあるそうです。そして、まだまだ増えている1,000室以上のフランス資本5つ星ホテルが建設中でした。観光客ですが、欧米人が過半数でした。一緒になった人は、イギリスやアメリカから来ていました。欧米からは、東洋の魅力がいっぱいだと思います。

さて、アンコールワットですが、市内から6kmの距離にあります。観光客は、バスやタクシーやツクツクと呼ばれるオートバイで引っ張る乗り物、そしてレンタサイクルなどで回ります。割合は、ツクツクがほとんどです。料金は、全てアメリカドルで支払います。1ドル未満は現地の通貨リエルで戻ってきます。1ドルが4,000リエルくらいでした。それで、私たちはタクシーを1日チャーターしました。料金は40ドルでしたが、エアコン付で快適でした。ツクツクでは、スピードが半分くらいですし、気温36℃の熱風にさらされます。また、舗装道路以外では土埃が襲ってきます。タクシーは料金が倍ですが、正解だと思いました。カンボジアの雨季は、5月から10月の半年で、乾季は11月から4月です。乾季は毎日晴れるので、日の出や夕焼けが必ず見られるそうです。私たちも、5時から日の出を待ちました。水に映る逆さアンコールワットは、とても美しく心に残りました。この時には約1,000人の観光客がいましたが、1番多い1月や2月には倍くらいになるそうです。それは、涼しい時期だからということでした。同僚が、その時期に行きましたが、朝は18℃くらいに下がって風邪をひいてしまったそうです。観光客は、年間300万人だそうです。これは、シンガポールの動物園系列の施設と同レベルになります。アンコールワットは、12世紀末に35年もの年月をかけて作られました。アンコール王朝は、1431年に滅亡するまで600年も続いたそうです。環濠や3重の回廊、5基の祠堂など圧倒的な迫力でした。65mの中央祠堂より高い建物は禁止されているそうです。それは、ヤシの木よりも高い建物を禁止しているバリ島と共通していて、歴史的景観を守るものだと思います。また、アンコールワット以外にも、アンコールトムやタプロームなど多くの遺跡がジャングルの中に広がっていました。特に、宮崎駿のアニメ「ラピュタ」のイメージを思い起こす、遺跡を浸食する樹木の姿が印象的です。人間が去った後、遺跡とともに生きてきた樹齢400年のスポアン（ガジュマル）の木。自然の驚異が遺跡を襲っているようでも

あり、逆に遺跡を崩壊から守っているようでもあります。アンコール遺跡はユネスコの世界遺産リストと同様に「危機にさらされている遺跡」としても登録され、内戦などで傷んだその保存修復が急務となっています。日本は、ユネスコ文化遺産保存日本信託基金によるプロジェクトとして、1994年に日本国政府アンコール遺跡救済チーム（JSA:Japanese Government Team for Safeguarding Angkor）を結成しました。

そして、長年にわたって修復作業を行ってきているそうです。しかし、写真のように崩れ落ちそうな場所が数多く残っていて、これからの課題となっているようです。



アンコールワットの夜明け



ツクツク



アンコールトム遺跡



スポアン（ガジュマル）の木



かぼちゃプリン



NGOの店



急こう配の階段



暗闇で歩くと危険な歩道



内戦で壊された仏像

シンガポール便り 6 1

2016年3月18日 三好 隆志

マンションのあるベドックの近くに Newater Visitor Centre という施設に見学に行きました。Newater というのは、多分 New water から考えた造語だと思います。この施設は、Newater を飲料水として利用することについて、人々の理解を得ることを目的とした施設です。シンガポール建国当初の水供給不足の歴史や、Newater の製造過程を実際の施設を見せながら、分かりやすいように処理イメージをパネル化したものや映像などでいい説明を受けることができます。そして、児童生徒に対して Newater の安全性や節水といった水に関する教育が提供されています。ちょうど、訪問した時には香港から小学校の修学旅行生が来ていました。ガイドの説明を真剣に聞く子どもたちの様子を見てみると、PR 施設としての役割を十分果たしていることが分かりました。また、これまでに児童だけではなく様々な人達が何十万人と来場しているとのことで、Newater の飲用としての安全性と貴重な水資源としての有効性に対する認識を国内において広く浸透を図っていく中で、地道ではあるが着実に成果として蓄積されているようで、その成果は今後 Newater の貯水池に放水される割合の上昇という形で具現化されていくと思われま。以前訪れたマリナバレーと同じように、施設内はデジタル技術、コンピュータゲーム、視覚映像とビデオを使って、楽しくてインタラクティブな方法で、水使用と再利用を説明していました。また、実際の工場施設も高架ガラスの入っている歩道から、Newater の生産を見ることができました。水の再利用は、水資源が貴重なシンガポールでは、1970 年に計画されたそうです。そして、2000 年代に次々に実現されていきました。Newater は、先進の膜技術と紫外線殺菌を使って浄化された再利用水です。そして、飲むこともできる安全な水です。それは 130,000 件以上の科学的なテストにパスして、WHO (世界保健機構) のガイドライン (高品質と信頼性) において認められているそうです。まず、2003 年にベドックとクランジに工場が作られました。それから、2010 年にシンガポール最大の設備がチャンギ空港の近くにできました。現在では、国の水需要の約 30%をまかなっているそうです。そして 2060 年までに、最高 55%を供給できるように、能力を 3 倍にする予定だそうです。現在はまだ主に、工業地域の生産工程での利用や商業ビルのエアコン用、そして街の噴水用などに使われていて、飲み水には利用されていません。それは、飲料水としては純度が高過ぎて、体に必要なミネラルがないからだそうです。仮にミネラルを補充したとしても人々が飲むには、心理的な障害がまだ大きいということもあります。それでも、乾



季には貯水池に水量確保のため放流され、その場合は生水と一緒に浄水されて飲み水にもなるそうです。この Newater は、下水道から集められています。シンガポールの下水道普及率はなんと 100% だそうです。地中 60m くらいの深さに直径 6m の大きな管が埋設され、浄水プラントにつながっているそうです。家庭やオフィスで使用され、下水道に流された使用済の水はこの管に集められ、浄水プラントに送られてきます。そして浄水処理された水が Newater なのです。その課題は、コストです。当然普通の水道水よりもコストがかかります。だから、効率化や大量生産などの技術開発で少しでも安く提供できるように努力しているようです。このリサイクル水は、アメリカのカリフォルニアや中東やオーストラリアなどでも利用されているそうです。このプロジェクトで一番重要な技術が「膜」です。中でも心臓部といえるのが逆浸透膜によるろ過プロセスですが、ここには日



本の東レ製の逆浸透膜が採用されているそうです。簡単に言えば、膜には極小の穴が開いていて、水分子等の非常に小さな分子のみを透過させます。その結果、バクテリアやウィルスなどの不要な汚染物質は膜を透過できないのです。シンガポールの水供給を支える日本の先進技術、日本人としてうれしく誇りに思いました。

シンガポール便り 60

2016年3月10日 三好 隆志

総合的な学習の時間に、日本人墓地公園に行ってきました。それまでに、シンガポールと日本との関わりを、墓地に眠っている人々を調べていくことから学習を進めてきました。到着後、御堂で日本人墓地に眠っておられる方々の功績や苦勞を忍びながら、献花をしたり線香をあげたりして手を合わせました。また、管理して下さっているローカルスタッフの方に、代表児童が英語でお礼を言いました。その後、各クラスに分かれて、広い敷地の清掃活動を行いました。子どもたちは暑い中、一生懸命に落ち葉などを集め、たくさんのゴミ袋が集められました。

それでは、日本人墓地公園の説明をしましょう。入り口からすぐにある納骨堂には、シンガポールに最初に住んだ日本人である山本音吉の遺灰が納められています。子どもたちは、この音吉にすごく興味をもったようでした。音吉は、1819年に愛知県美浜町に生まれました。1学期に交流したイーミン校は、その縁で現在も美浜町の学校と行ったり来たり国際交流をしているそうです。音吉は、14歳のときに見習い船員として乗った尾張から江戸へ向かう船が嵐に遭い、1年2ヶ月に及ぶ漂流の末、アメリカ北西海岸に漂着。その後、イギリス船に助けられてロンドンからマカオへと世界一周をしました。日本の浦賀に帰国を試みるものの、鎖国政策により砲撃を受けてしまいます。そのため、上海でイギリス商社デント商会に勤務しました。そして、ジョン・オトソンと名乗っていた音吉は、1854年長崎でのイギリスとの日英交渉で通訳を務めています。シンガポール出身のマレー人と結婚していた音吉は、1862年、中国の治安悪化や病気のためシンガポールへ移り、この地における日本人の定住者第1号となったのです。その時に、シンガポールに使節団の一員で来た福澤諭吉と会い、中国の話が諭吉に伝えたそうです。音吉は、1867年にその波乱万丈な人生を終えています。ところが、2004年にシンガポールのキリスト教墓地に音吉がひっそりと埋葬されているのが発見されました。日本人墓地に石碑が作られるとともに遺骨は火葬され実に173年ぶりに里帰りを果たしたとのことです。

さて、この墓地が誕生したのは1891年のことです。雑貨商やゴム園経営などで成功した二木多賀治郎が、自己所有のゴム林の一部を提供したことに始まります。大きなゴムの木が、まだ片隅に1本



残されていました。日本人墓地公園は、セラングーン地区の閑静な住宅地の一角にあります。敷地面積3haと東南アジア最大規模だそうです。公園として、緑の木々やブーゲンビリアのアーチや芝生が美しく整備されています。この地で亡くなった日本人が眠る墓地として、墓標数は約千基15,000人が眠っているそうです。音吉や二木多賀治郎のほか、戦前に活躍した日本人や戦犯処刑者も眠っています。明治から大正にかけて、島原や天草などの貧しい家庭の若い女性が、アジア各地に働きに出ていました。後に「からゆきさん」と呼ばれることになる女性たちです。シンガポールにも多くの「からゆきさん」が集まり、一時はこの街で暮らす日本人の多数を占めたほどだそうです。しかし、その過酷な労働環境の下で、若くして病気で亡くなる女性や、日本に帰ることができないまま、シンガポールでその生涯を終える女性も多かったのです。この墓地にも、たくさんの「からゆきさん」が眠っています。また、この日本人墓地には墓だけでなく、多くの記念碑もあります。例えば、日本の近代小説の始まりとされる『浮雲』やロシア文学の翻訳で知られる二葉亭四迷です。朝日新聞特派員として渡ったロシアで肺を患った彼は、帰国途上のベンガル湾上の船の中で亡くなり、このシンガポールで茶毘に付されたのです。子どもたちは、この校外学習の後、新聞を作りました。そして、参観日に保護者の方にも、その新聞を見てもらいました。



シンガポール便り 59

2016年3月 5日 三好 隆志

今回は、2年前に東京でも代々木公園への立ち入り禁止措置などでニュースになったデング熱についてお伝えしましょう。

学校に、日本から東京医科大学と京都大学の医師がゲストティーチャーとして来られました。そして、2学年ごと3回に分けて、分かりやすくお話を聞かせていただきました。デング熱とは、ウイルスを媒介する蚊によって起こる病気です。主に、東南アジアで流行しています。症状としては、高熱が出たり皮膚が赤くなったりするそうです。重症化すると、意識がなくなったり、ショックを起こしたりします。子どもたちは、説明を聞いた後、アニメを見たり、卵やボウフラや蚊の実物を見たりしました。デング熱を広める蚊の種類は、いわゆるやぶ蚊です。白と黒の縞がありますね。デング熱を媒介する蚊は、他の蚊と違って昼間に刺すそうです。デング熱にかからないようにするには、蚊に刺されないことが大切になります。まず、長袖や長ズボンなどを着て皮膚を出さないようにします。また、蚊取り線香や虫よけのスプレーなどで防御します。ただし、虫よけスプレーは日焼け止めなどを塗った最後にしないといけません。また、むらにならないように塗ることと、汗で落ちるので2時間毎くらいに塗り直しが必要になります。よくO型の血液型・黒っぽい服・汗をかいている・お酒を飲んでいる・じっとしているなどの条件が、刺されやすいとされています。

シンガポールでは、政府が3段階の注意報を設定しています。それは、直径300mの範囲で2週間以内に何人の患者が出ているかで判断されているそうです。患者が0の場合は、グリーンとなります。患者が1～9人になったら、イエローとなります。10人以上は、レッドとなり警報が出されます。それで、政府は色々な啓発活動をしています。テレビCMや街の横断幕などで、蚊を増やさない方法を知らせます。例えば、水たまりを作らないことです。空き缶やペットボトルの置きっ放しや、植木鉢の受け皿の水の交換などです。

さて、蚊に刺された場合は、どうしたらよいのでしょうか。そんな人がすぐに病院に行ったのでは困ります。ウイルスを持っている蚊かどうかは見分けが付きません。また、例えウイルスが体内に入っても、発病は30%くらいだからです。しかし、高熱や皮膚が赤くなるなどの症状が出たら病院で検査を受けないといけません。そして、水分をたくさん採るようにします。重い場合は点滴をします。シンガポール日本人学校では、この3年間に子どもが2人、職員が3人感染しています。きちんと病院にかかれば、亡くなるようなことはまずないということを知ってほっとしました。



最後に、質問コーナーがありました。

予防接種はないか？

「フィリピンやブラジルなどでは、すでに実施されていて6割くらいの効果がある。シンガポールでも近いうちに認可されるようだ。」

オスとメスの違いは？

「メスが卵を産むために刺す。オスは樹液などを飲んで人を刺すことはない。」

初めからデング熱ウイルスをもっているのか？

「デング熱に感染している人を刺して、3日くらいで人を感染させる能力が出てくる。」

卵はどんなところに産むのか？

「1円玉くらいの少しの水たまりでも産む。そして、卵は乾燥しても何か月も生き延びることができる。」
シンガポールでは、どのくらいの患者が出ているか？

「1年で2万人くらい。死者は数人レベル。」

ちなみに私はこの1年で蚊に刺されたのは2回だけでした。また、マンションに蚊がいたのも2回だけでした。また、今年ブラジルで大流行しているジカ熱ですが、同じく蚊が媒介する感染症です。感染すると、発熱や発疹など風疹やはしかに似た症状が現れるそうですが、シンガポールでは聞いたことがありません。NHKを観ていると、今回ゲストティーチャーで来校した東京医科大学の医師が、ブラジルから帰国した高校生がジカ熱に感染していることが分かった件では冬なので蚊の活動が無く心配無用と解説していました。



デング熱注意を呼びかけるバス停の広報

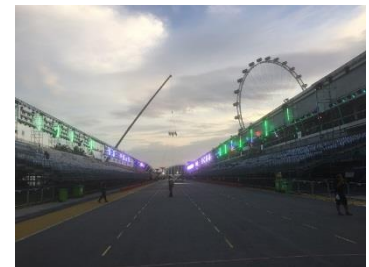
シンガポール便り 58

2016年2月27日 三好 隆志

今年のチンゲイ・パレードは、2月19日（金）と20日（土）にマリーナの F1 ピット近辺で開催されました。このパレードは人民協会（People's Association）が 43 年前から開催しているチャイニーズニューイヤーを祝うアジア最大のイベントです。今年は 120 の団体より 8000 人のパフォーマー、8 か国が出場したそうです。そして、日本人会は今年で 14 回目の参加となりました。

チンゲイ・パレードは、当初旧正月を祝う伝統的な行列でしたが、年々パフォーマンスが大規模になって、壮大なパレードに発展しているそうです。このパレードの起源は中国の福建地方です。そこでは、旧正月の 2 週間後に春を迎える祝いの行列が催されていました。「チンゲイ」という名は「衣装と仮装の芸術」という意味の福建語からの造語です。1973 年に始まったこのお祭りも 1990 年代になると、パレードは夕方から夜にかけて行われるイベントになり、光と花火の壮観な演出で締めくくられるようになったそうです。さまざまな民族的背景をもつ人々が、このお祝い事を共有しようとチンゲイに参加します。最初は、オーチャードで行われていたみたいですが、より多くの観衆を迎えられるようにスタンドのあるこの広い場所に開催地が移転しました。今年のチンゲイ・パレードは建国の父、故リー・クアンユー元首相の過去の功績を称え、更に未来のシンガポールの繁栄に願いを込めたものでした。そのコンセプトは「Lights of Legacy, Brighter Singapore」です。つまり、シンガポールのコミュニティ社会が故リー・クアンユー元首相の功績でしっかりした基盤を持つことができたことへの感謝、将来のシンガポール社会もみんなで協力し、より良い社会を築いていこう！というものです。日本人会のテーマは「Everlasting Illuminating Passion with Awa Dance」。阿波踊りをテーマに阿波踊り風ダンスと曲、そして鳴門をイメージした山車とたくさんの提灯、参加者総勢約 450 人で参加しました。チャンギ校からは、23 人の参加でした。

その踊りの練習は、10 月末から開始しました。チャンギ校やクレメンティ校の体育館での練習から始まり、日本人会、そして本番会場 F1 ピットでのリハーサルと進みました。小学生からシニアまでにぎやかに踊ります。私のクラスからも、4 人の子どもが参加していました。練習は、とても厳しいし、衣装が暑く貴重品を入れるスペースがなくて困ってしまいました。それでも、スタンドの前をパレードすると、たくさんのフラッシュを浴びてスターになったような気分です。約 3 分間のパフォーマンスを 6 回移動しながら続けて、最後は大満足で終わりました。





ロシアのダンサー



インドネシアから



韓国の踊り



くまモンも応援



日本人学校チャンギ校チーム



インドの踊り

シンガポール便り 57

2016年2月15日 三好 隆志

シンガポールでは、本来の正月は元日だけがお休みで2日からは平日となっています。そして、旧正月をチャイニーズニューイヤーと呼び、日本の正月のようなお祝いムードになります。私にとって困ったことは、スーパーやレストランなどが閉まってしまったことです。今年の場合は、2月7日の日曜日が大晦日でした。お店は、夕方には全部閉まっていた。そして、8日と9日はほとんど閉店していて、マクドナルドやケンタッキーやピザハットなどの欧米型外食産業だけがオープンしていました。長い場合は、一週間閉店しているそうです。それで、インド人の街トリインディアに行ってみました。すると、思った通りほとんど平常通り営業していました。それで、名物のバナナリーフカレーを食べたのであります。

měi tiáo dà jiē xiǎo xiàng, měi ge rén de zuǐ li,
毎 條 大 街 小 巷, 每 個 人 的 嘴 裏。

(あらゆる大通りと路地で、人々は口々に)

jiàn miàn dì yī jù huà, jiù shì gōng xǐ gōng xǐ
見 面 第 一 句 話, 就 是 恭 喜 恭 喜。

(顔を合わせると、おめでとうと言う)

gōng xǐ gōng xǐ gōng xǐ nǐ ya, gōng xǐ gōng xǐ gōng xǐ nǐ
恭 喜 恭 喜 恭 喜 你 呀! 恭 喜 恭 喜 恭 喜 你。

(おめでとう おめでとう おめでとう おめでとう)

gōng xǐ gōng xǐ gōng xǐ nǐ ya, gōng xǐ gōng xǐ gōng xǐ nǐ
恭 喜 恭 喜 恭 喜 你 呀! 恭 喜 恭 喜 恭 喜 你。

(おめでとう おめでとう おめでとう おめでとう)

dōng tiān yǐ dào jìn tóu zhēn shì hǎo de xiāo xī
冬 天 已 到 盡 頭, 真 是 好 的 消 息。

(冬はもうすでに終わり、本当に良い知らせだ)

wēn nuǎn de chūn fēng jiù yào chuī xǐng dà dì
温 暖 的 春 風, 就 要 吹 醒 大 地。

(暖かい春風が、もうすぐ大地を覚まさせる)

gōng xǐ gōng xǐ gōng xǐ nǐ ya, gōng xǐ gōng xǐ gōng xǐ nǐ
恭 喜 恭 喜 恭 喜 你 呀! 恭 喜 恭 喜 恭 喜 你。

(おめでとう おめでとう おめでとう おめでとう)

gōng xǐ gōng xǐ gōng xǐ nǐ ya, gōng xǐ gōng xǐ gōng xǐ nǐ
恭 喜 恭 喜 恭 喜 你 呀! 恭 喜 恭 喜 恭 喜 你。

(おめでとう おめでとう おめでとう おめでとう)

ちゅうごくご うた
中国語の歌を

うた
歌ってみよう!



まちなか
街中のスーパーなどでこの時期よく耳にする歌です。一度聴いたら、頭の中にこのメロディーが流れ続けます! YouTube で検索してみましょう! 曲名は「恭喜恭喜」です。



民族衣装デイのクラスの子どもと



閉店しているホーカーセンター



モールの新年の飾り付け



混み合っていたインドレストラン



バナナリーフカレー約 1200 円



ドラゴンダンス



ライオンダンス

学校で、ライオン・ドラゴンダンス鑑賞会がありました。銅鑼の音とともに、ドラゴンとライオンが登場しました。8人で操る長い身を翻しながら舞うドラゴンは、まるで生きているようでした。さらに驚くのは、ライオンダンス（獅子舞）です。地面から2mほどの高さがある鉄柱の上を、巨大な獅子が跳んだり跳ねたりするパフォーマンスを見せてくれました。獅子舞の前足と後足の部分には別々の人が入っているのですが、二人のタイミングがぴったり合っていないと落ちてしまいます。もちろん、下には落下に備えて補助の人が数人スタンバイしていました。ドラゴンとライオンは、中国の神話によく登場するそうです。その起源は、古代中国で村人たちを苦しめた伝説の野獣ニエン（Nien）で、村人たちが、ニエンが赤色や大きな音を怖がることに気がついたことにあると伝えられています。



シンガポール便り 56

2016年2月5日 三好 隆志

今回は、1月24日に行なわれたヒンズー教のお祭り「タイプーサム」(インド)について紹介します。

1. ヒンズー教のお祭り「タイプーサム」今年はいつ？

タイプーサムは、ヒンズー教徒にとってディパバリと並んでとても重要なお祭りです。タイプーサムの「タイ」とは国の名前とは無関係で、ヒンズー暦の10月(Taiの月)のことです。このお祭りは、この月の満月の夜、かに座の最も明るい「プーサム(Pusam)」という星が昇るときに行われます。通常1月中旬から2月上旬にあたり、今年のタイプーサムは1月24日でした。

2. 発祥地の「インド」では行なわれない？

タイプーサムは、ヒンズー教徒が苦行をすることで、神々への感謝を表わすことを目的に行われます。タイプーサムの苦行は危険を伴うため、発祥地であるインドをはじめ、他の国々では禁止されています。現在は、シンガポールとマレーシアでのみで盛大に祝われているそうです。

3. タイプーサムの苦行とは！

タイプーサムでは、カバディ(Kavadi)といわれる儀式用具をかついでヒンズー寺院に参拝します。カバディをかつぐ行者は、数カ月または、数週間の間、肉類を食べるのを絶って菜食をし、さらに断食や禁酒、禁欲し、精進しなければなりません。信者らは通常、友人や家族に付き添われ、祈りや詠唱などを通して励まされ応援を受けます。針を体に刺し巡業しますが、苦行の時は痛くないとされています。

4. シンガポールでは、どこで行われるの？

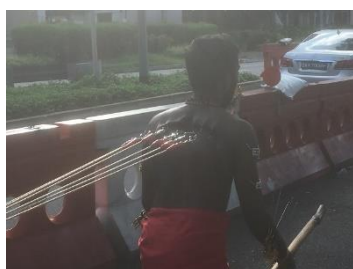
スリ・ペルマル寺院という広い敷地の寺院で行われます。ゆったりとした気分でインドの神様を見ることができます。蛇などのモチーフが刻まれた柱など意味をもった装飾に溢れています。スリ・ペルマル寺院は、Little Indiaにあります。この寺院から巡業はスタートします。そして、セラングーン・ロードを通過して、ここから約4km離れた、River Valley Rd.のヒンズー寺院「スリ・タンダユダバニ寺院」まで、信者の方々が歩いていきます。信者の方は、願い事を叶えるため、あるいは、願い事が叶ったことを神様に報告するために歩きます。毎年、エントリーする信者の方は約1万人いるそうです。

5. ふるまいカレー！

寺院の近くでは、パンやごはん、カレー、ポテトサラダなどがふるまわれます。これは、信者の方だけ



でなく、見学に来た方々ももらえます！他にも「給水ポイント」などもあり、これはカバディをかついでいる行者の方に用意されています。巡業の成功のために、いろいろな準備が行われているのです。



シンガポール便り 55

2016年2月1日 三好 隆志

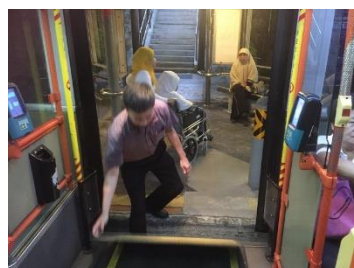
今回も、日本と同じようなこと、日本とは違うことを取り上げて報告します。まずは、呼び出し機です。日本では、ファストフード店などで電子掲示板による番号掲示が多いですね。そして、写真のようなポータブル呼び出し機もあります。シンガポールでは、これが主流です。基本的には、レジで支払いを済ませて料理をピックアップしますが、直ぐにできない料理はポータブルの円盤のような呼び出し機で知らせてくれます。特に、写真のようなホーカーセンターでよく見かけます。お店が、50くらい集まっているような大きなところでは、店の人が客を見つけるのが大変なのと、広くて届けるのに時間がかかるからでしょう。写真のテーブルですが、普段は4人用に使っていますが、大きな円盤を転がして持って来ただけで、10人くらいが座れる大きなテーブルに変身します。最初は満席でだめだなあと思っている、そうぞうぞと招き入れてもらえます。

次に、バスの車いす対応です。シンガポールでは、車いすの人の多くはバスで移動します。だから、どのバスも容易に乗り降りできるよう床面高さを約30cmとし、ステップをなくしたバスです。運転手は、素早く降りてきて、折りたたみ式スロープを出し入れします。また、車いすも補助の人がついている場合や、電動で一人で乗っているものなど多様です。

次の電車 MRT (Mass Rapid Transit) ですが、全て2重のドアになっています。電車のドアが先に開閉し、直後にホームのドアが開閉します。そのため、転落事故などやドアに挟まるような事故は防ぐことができます。

スーパーなどで、ティッシュやトイレットペーパーなどを買った場合、支払い済のシールを貼って、包装は省きます。これは、日本と同じですね。

次の写真は、ヒレナガ錦鯉です。シンガポールでは、錦鯉がたくさん飼われています。そして、このヒレナガ錦鯉もよく見かけます。最初は、金魚が大きくなったのかと思ってしまいました。調べてみると、日本の錦鯉とインドネシア原産のヒレナガゴイとの交配、品種改良によって作り出されたそうです。背鰭、尾鰭、腹鰭が長いことが特徴です。泳ぐ姿が優美であるとされているそうです。その誕生の経緯ですが、1977年7月、埼玉県水産試験場を視察に訪れた皇太子明仁親王に、インドネシア側から鯉の品種改良の打診があり、これを契機として親王は1980年よりニシキゴイの品種改良に着手されました。そして、2年後の1982年に誕生したそうです。現在も皇居二の丸の池に放流されており、観賞魚として埼玉県を中心に各地に広まっているそうです。



シンガポール便り 54

2016年1月25日 三好 隆志

Demographic Yearbook の 2013 年資料によると、みなさんご存知のように国別面積のランキング 1 位は、当然ロシアということです。何と世界の 11.5% もを占めるそうです。日本は、小さい国と言われますが 66 位です。そして、シンガポールは本当に小さく 188 位です。しかし、マレーシアから独立当初 (1965 年) は 575k m² だったシンガポールですが、その後埋め立てで面積が広がっています。当初日本と比較して、シンガポールの国土面積は淡路島 (592k m²) くらいであると言われていました。それが、1990 年代には東京 23 区 (621k m²) と比較され、現在は対馬 (700k m²) との比較がされています。現在 (2014 年) 面積は約 710k m² です。1965 年から現在までで 135k m²、1.23 倍も面積が広がったことになります。しかも、2030 年までに、まだ 50k m² も埋め立てを進める計画だそうです。だから、世代によってシンガポールの大きさの比較対象が変わったりするのはこのためです。ラッフルズ・ホテルの目の前の Beach Road は、名前の通り海岸でホテルの目の前の砂浜にパラソルをたてている姿がよく見られたそうですが、今ではマリーナ・センターとしてオフィスビルが立ち並んでいます。チャンギ空港が埋め立て地に建てられているのは有名ですが、シンガポールの南側はマレーシアとの干渉もなく、重点的に埋め立てが行われ、島の南側の端から端まで埋め立て



で拡張されました。East Coast Road (東海岸通り) も埋め立てが進み、海岸線は元から 1 キロ

ほど拡張されており、今では公園になっていますが、これも人工的に作られた海岸線と言うことになります。また、西の Jurong のほうでは点在していた島を埋め立ててつなげて Jurong Island を作り、今では工業地域として使われています。さて、その埋め立てに使う土砂はどこから持ってきたのでしょうか。国連環境計画によると、シンガポールは 2014 年時点で世界最大の砂輸入国だそうです。しかし、周辺国で

は砂の大量採取や埋め立てによる環境への影響を懸念する声が高まっています。マレーシアは 97 年、インドネシアは 07 年、カンボジアは 09 年に砂の輸出を禁止しました。ベトナムもすでに禁止し、ミャンマーでも禁止を求める声が高まっているそうです。

さて、埋め立ての写真以外の説明をしましょう。シンガポールでは、道路と歩道の境目には芝生を植えるように決められています。また、きれいな道路にするために、工事車両は泥などを洗い流してから道路に出ないといけません。もうすぐ、シンガポールでは旧正月を迎えます。1 月 1 日より、旧正月の方が盛大に新年を祝うようです。そして、岡山うらじゃ祭りのような「チンゲイパレード」というイベントがあります。



シンガポール便り 53

2016年1月15日 三好 隆志

冬休みに、ペナン島に行きました。海外派遣者は、長期休業で任国外旅行が研修として認められています。ですから、ほとんどの人が見分を広めるために旅行に出かけます。もちろん、旅費は自費だし年次休暇をとっていくことになっています。また、シンガポール日本人では、1回につき9日以内となっています。初めはプーケット島に行く予定でしたが、年末年始は値段が2倍になっていてあきらめました。ペナン島は、シンガポールから飛行機で1時間と近く手軽に行くことができます。エクスペディアという格安ツアーを見つけられるサイトで、何と2泊3日が飛行機とホテル合わせて3万円たらずでした。飛行機は、LCC 格安航空会社のエアアジアでした。行きも帰りも40分くらい出発が遅れましたが、到着して客が降りてきたのを見たと思ったら、すぐに搭乗となりました。LCCは、基本的に乗り継ぎが発生しない短い路線を1日に何度も往復することで、1便当たりの「単位コスト」の低減を可能にしているというわけです。

さて、ペナン島についてです。島の面積は295km²で、東西12km、南北24kmの広さをもっているそうです。島の最高峰は標高833mのペナン・ヒルです。山頂までケーブルカーが運行されていて、頂上からは対岸のバタワースまで一望できました。5℃くらい低いのでしょ、涼しくて下界の暑さを忘れることができました。山頂からの景色は、何とジャングルがほとんどでした。シンガポールでは、山を見ていないため新鮮な景色でした。ペナン島は「東洋の真珠 (The Pearl of The Orient)」と呼ばれ、現在でもマレーシア随一の観光地だそうです。2008年に、マラッカとともに市街地のジョージタウンが、ユネスコ世界文化遺産として登録されました。そのジョージタウンと、島の北部のパトゥ・フェリング、テロック・バハンなどの高級リゾートホテルが立ち並ぶビーチという二つの観光地の側面を持っています。私たちは、Hotel Jen というジョージタウンにあるホテルに泊まりました。街中で世界遺産の地区に近く便利でした。また、Golden Sands Resort by Shangri-La というビーチにあるホテルと提携していて、無料シャトルバスが運行されていました。だから、2日目は40分ほどバスに乗って、リゾートホテルのプールやビーチで泳いだり、敷地内のショートコースでゴルフをしたりできました。宿泊客は、9割が欧米人でした。海は、遠くから見ているとエメラルドグリーンですが、泳いでみたら瀬戸内海くらいの感じです。山陰の日本海よりは、透明度があ



りませんでした。ペナン島で、一番良かったのは物価の安さです。食事は、観光客に有名なレッドハウスという屋台村で、ビール大瓶2本飲んで2,500円くらいでした。ビールが1,500円くらいでしたから、たくさん食べた料理はすごく安かったことになります。その物価の安さや治安の良さ、南国の気候などにより、日本から定年退職者が「第二の人生」あるいは「楽園での余生」を楽しんでいるそうです。

ペナン島の人口は約70万人程度で、そのうちジョージタウンの人口は約30万人だそうです。その割には、交通が混雑していたり、高層マンションがたくさん建っていたりしました。たぶん、狭い平地に密集しているからだと思います。住民は、中国系が約半数と多く、マレー系、インド系タミル人の順だそうです。イスラム教、仏教（大乘仏教・上座部仏教など）、道教、ヒンドゥー教、カトリック、英国国教会、シーク教など、きわめて多様な宗教施設が集中しています。また、世界遺産地区は、壁にたくさんの絵が描かれていました。

観光として見て回ったのは、1786年にフランシス・ライトが上陸した場所に設けられた要塞と、1897年に当時の英ビクトリア女王即位60周年を記念して建てられた時計塔です。また、お寺では寝釈迦仏寺院 Wat Chayamangkalaram に行きました。本堂には、金箔をまとった全長33mの巨大な寝釈迦仏が横たわっていて、その迫力ある華麗な姿は圧巻でした。敷地内には、本堂と五重のパゴダ（仏塔）があり、いずれも1900年に建てられたもので、タイと中国式が入り混じったユニークな造りになっていました。この涅槃仏は1958年に造られたもので、裏側にはたくさんの信者の骨壺が納められていました。その骨壺を見ると、ちょっと背筋が凍りました。それから、日本人学校にも行ってみました。児童生徒数は150人で、中学部と一緒にある学校です。もちろん、各学年1クラスずつとなります。校舎は、40年以上と古くなっていましたが、日本と同じ教育を、このペナン島でもがんばっているのだと思うと、すごく感動しました。



シンガポール便り 52

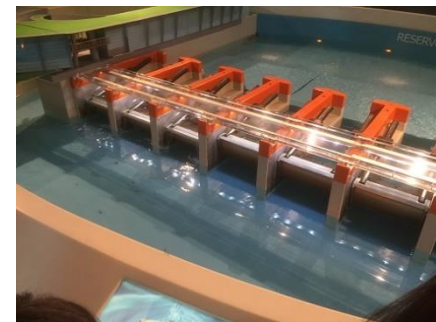
2016年1月7日 三好 隆志

みなさん、日本は水資源に恵まれた国ですね。しかし、世界には水の供給問題を抱える国々が多いのです。何と、毎年200万人近くの子どもたちが、不衛生な水のために命を落としているそうです。また、1km以内に安全な水を確保できない人が、10億人もいるそうです。そのため、遠くまで水を汲みに行ったり、学校に通えないなどの問題が出てきます。シンガポールは、年間2,300mmもの雨量があるけれど、大きな河川がないため、水問題を抱えています。それで、現在は水需要の4割をマレーシアからの輸入にたよっています。しかし、あと45年でその契約は終了し、自国で賄わなければなりません。他は、2割を貯水池の雨水により賄っています。そして、残り4割は海水の淡水化と下水を濾過洗浄して上水として再利用しているそうです。さて、今回はその貯水池を訪ねてみました。

2008年に完成したマリーナバラージ (Marina barrage) です。マリーナ湾の湾口をせき止めて淡水化し、上水道にするための可動堰式ダムを完成させたのです。この貯水池ではシンガポールの水需要の1割を賄っているそうです。マリーナバラージを訪れると、全長350mの堰と30mある金属製の巨大な9つの水門、マリーナベイに出入りする船舶を昇降させて堰を渡すゲートを真近で見ることができます。2008年のマリーナバラージ完成は、シンガポールの水資源確保における重要な転機となりました。マリーナ運河河口を仕切る形で作られたマリーナバラージは、シンガポールで15番目で都心の中心部に作られた初めての貯水池です。国土の6分の1に当たる1万haの集水地域を持つマリーナ貯水池は、シンガポール島最大で最も洗練された貯水池です。その役目は、新たな水供給源だけではありません。洪水防止、新たな行楽地という3つのメリットをもたらしているのです。

まず、水供給源としてのマリーナ・バラージは、幅350mのマリーナ運河河口をせき止め、海水の浸入を防ぐ形で建設されたダムです。バラージ建設により、マリーナ貯水池は雨水で自然に水が入れ替わり、10年近くかけて淡水のため池となりました。この淡水を最先端の膜技術で処理し、安全な飲料水にしているそうです。

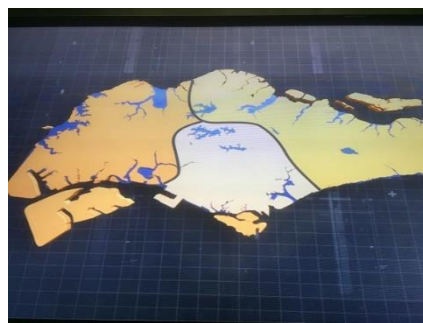
次に、洪水防止としては豪雨時に、干潮であればダムの9つのクレストゲートを下ろして余分な雨水を貯水池から海に放出します。しかし、満潮の場合はクレストゲートを開けず、1台で1分間にオリンピ



ックサイズの水泳プールの水をくみ上げられる巨大ポンプ数台を使って、余分な雨水を海に放出するそうです。マリーナ貯水池の水位は、潮の干満の影響を受けないで、一年を通じ一定に保たれるわけです。

3つ目の行楽地としてですが、ボートやカヤック、ドラゴンボートなど様々なレクリエーション活動に格好の場所となっています。凧揚げやピクニック、結婚式など、マリーナ・バラージは社交・レクリエーション活動の場としても人気を集めているそうです。

また、マリーナ・バラージ内に設置された「持続可能なシンガポール」ギャラリーでは、環境維持のためのシンガポールの取組を、情報提供や体験コーナーを通じ紹介しています。来場者は、シンガポール独自の環境維持の取組を紹介した6つの展示室を見学できます。ギャラリー1では、環境への取り組みについて、「ABCプロジェクト」として紹介していました。Aはアクティブ・Bはビューティー・Cはクリーンだそうです。ギャラリー2では、マリーナ湾に注ぐシンガポール川とカラン川のクリーン化について紹介されていました。ギャラリー3では、国が取り組んでいる水質改善事業について紹介されていました。ギャラリー4では、洪水対策としての役目を、小さくした模型で実演していました。10分ほどの間に、天井から豪雨になぞったシャワーが降ります。そして、干潮時には9つのゲートを下し海側に水を放流しました。また、満潮時にはポンプを使って別の排水路から水を放流しました。このデモンストレーションによって、洪水対策の仕組みを理解することができました。ギャラリー5では、先進的なデザインにより、国の持続可能な環境への施策を学ぶことができました。そして、最後のギャラリー6では、今後の決意や見学者への節水など取り組みへの参加を呼びかけていました。これらのギャラリーにより、見学者は双方向で最新のマルチメディアを使って、資源の限られた小さな国が、どのようにして環境を維持しつつ、急速な開発が進む地域社会のニーズに対応しているかを楽しく学ぶことができました。



シンガポール便り 5 1

2015年12月25日 三好 隆志

2学期の終業式も終わり、冬休みに入りました。今年は私にとって定年退職、シンガポール日本人学校赴任と、大きく生活が変わった1年になりました。妻は岡山で仕事、娘は東京で学生と家族はばらばらになっています。また、年老いた母親が一人で暮らしているため心配もあります。元気で3年間の任期を全うし帰国したいものです。

さて、今年がんばったことは、こちらに来て2回は病院にかかりましたが、1度も学校を休まなかったことです。また、始発のバスに1度も乗り遅れなかったことも良かったです。それは、子どもたちを始め、同僚や日本で応援してくれるみんなのおかげです。ありがとうございます。また、来年もよろしくお願いします。

ここで、2学期末の学校の様子をお知らせしましょう。まず、日本ではこの時期にユニセフ募金というものがありました。津島小学校では、国際理解委員会が取り組んでいました。シンガポール日本人学校では、企画委員会（運営委員会のように各クラス男女1名で構成されている）が担当します。集まったお金は、ストレーツタイムスという新聞社のスクールポケットマネーフンドに届けられます。お金は、両親を亡くした子どもなど、恵まれない子どもの教育活動に使われます。今年も、1週間の募金活動で約5万円が集まりました。

次の写真は、保護者のボランティアによる読み聞かせです。この日は5人のお母さんが、「おじいちゃんは水のおいがした」「めぐろのさんま」などを読んでくれました。

次も、保護者がたくさんボランティアに来てくれた餅つき大会です。私もつきました。校長先生が、合の手を入れています。

次は、書初め大会です。年明けに本番があります。5年生は「進む勇氣」という字を書きました。毛筆習字を習っている子どもは、海外のため教室があまりないからか、日本よりも少ないです。

最後の写真は、外国語活動で作ったクリスマスカードです。もちろん英語で書きました。あて先は、家族などです。こんな文を書きました。

Dear Grandpa Jaseph

I wish you a Merry christmas and a Happy New Year !

Japan is much colder than Singapore.Is heaven really fun?

I hope that you are living happily in heaven.

With love from ○○○○

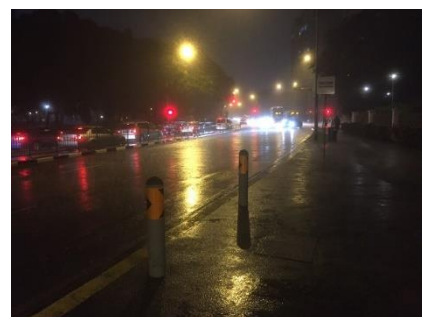


シンガポール便り 50

2015年12月20日 三好 隆志

シンガポールでは、11月から2月までが雨季になるそうです。確かに、11月から雨が多くなりました。また、9月から2カ月間悩まされていた大気汚染（ヘイズ）もおさまりました。季節風が変わったような気がします。気温も下がって涼しく感じます。そこで、データを調べてみました。1年間で一番暑いのは、4月と5月でした。最高気温が31.7℃で、最低気温は24.8℃です。一番涼しいのは12月と1月です。最高気温が30.0℃で、最低気温は23.3℃でした。つまり、2℃も変わらないのに暑いとか涼しいとか感じるわけですね。ちなみに、岡山の気温と比べると、一番暑いのは当然8月になりますが、最高気温が32.7℃で、最低気温は24.7℃です。つまり、岡山の夏休みの方が少し暑いのです。岡山の7月と同じくらいだと思ったらいいかもしれませんね。次に、降水量ですが、4月から8月までが、140mm～150mm くらいです。11月から1月までは、200mm～300mm になります。実は、岡山で一番降水量が多い時期は、梅雨の6月～7月で、160mm～170mm なのです。つまり、シンガポールの乾季とあまり変わらないのです。シンガポールでは、1年中スコールがあります。全く雨が降らないという時期はなく、年中じめじめしている感じがします。岡山は「晴れの国」と呼ばれ、年間降水量は約1,100mm ですが、シンガポールでは約2,300mm と2倍以上降っています。ちなみに東京は約1,500mm だそうです。実は、雨に恵まれているシンガポールですが、狭い国土で高い山や大きな川が全くないため水の確保は重大な問題です。2キロ先のマレーシア側から、3本のパイプラインを通して供給される水に大半を頼ってきました。しかし、2061年に供給協定が切れてしまいます。だから、色々な方法で水を国内だけで賄えるように対策を立てています。今回は、そのことについて詳しく報告します。

さて、写真の説明ですが、乾季では降らない日もあるのに、11月からはほとんど毎日雨が降ります。だいたい夕方が多く、1時間前後です。運動場にスコールがきて、30分ほどで芝生が水に浸かってしまいました。スプリンクラーでやっていた水やりも必要ないようです。逆に、芝の成長が早く、芝刈りが大変かもしれません。この写真の芝刈り機以外にも、斜面や狭いところは、3人くらいが人力で芝を刈っています。だいたい2週間に1度の割合で、日曜日に外部の労働者が来ています。芝生の種類は、東南アジアに多い高麗芝です。



シンガポール便り 49

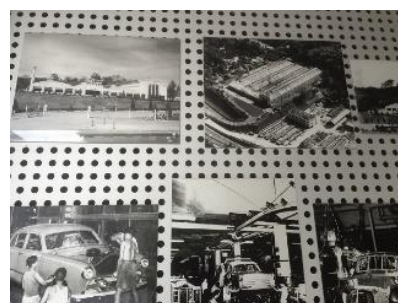
2015年12月15日 三好 隆志

戦争に関する記念施設は、このシンガポールにいくつかありますが、今回は Old Ford Factory (フォード工場戦争記念館) を紹介します。東南アジアで最初の車の組立工場だったフォード工場(1941年)ですが、稼動まもなく日本の占領が始まりました。日本占領時代は日産のトラック工場と陸軍車両の修理工場として稼動したそうです。戦後2年間で、イギリス軍の車両工場として使われた後に1980年までフォード工場、そして2006年2月15日に戦争記念館として開館しました。ここは、ブキティマヒルというシンガポールで最も大きい原生の熱帯雨林が残る場所の近くにあり、シンガポールで最も高い163mの地点があるところとしても有名な場所です。なぜここが戦争記念館になったのかというと、1942年2月15日に、イギリスが日本に降伏した場所だったからです。その日を開館した日にも選んだわけです。

では、その戦争について詳しく説明します。1941年12月8日、ハワイの真珠湾攻撃と同じ日に、陸軍の山本泰文によるマレー・シンガポール作戦も開始されて太平洋戦争が始まりました。当時は、シンガポールやマレー半島は、イギリスの植民地となっていました。日本軍の目的は、イギリスからシンガポールを手に入れることでした。まず、日本軍はマレー半島北端に奇襲上陸しました。イギリス軍と戦闘を交えながら55日間で1,100キロを進撃し、1942年1月31日に半島南端のジョホール・バル市に突入しました。これは世界の戦史上まれに見る快進撃でした。マレー半島を縦断する道路は一本道で、両側にはたむしむしジャングルとゴム林が広がっていました。さらに、半島には大小250本の河川が流れ、南に撤退するイギリス軍が橋梁を破壊すれば容易に日本軍の進撃を阻止できると考えられていたからです。その秘密は、自転車で進軍したからでした。だから、「銀輪部隊」と呼ばれたそうです。戦前からこの地域には日本製の自転車が輸出されていたため部品の現地調達



も容易だったそうです。その時に使用した自転車が展示されていました。この戦いで日本軍の損害は戦死者1,793名、戦傷者2,772名。イギリス軍は戦死者約5,000名、捕虜約8,000名を数えました。1月31日にマレー半島南端のジョホールに到達した山下泰文司令官は、ここに司令部を置いてシンガポール上陸作戦を考えました。一方、イギリスの司令官はアーサー・パーシバル陸軍中将でした。司令部は、フォートカニングの地下壕に置きました。フォートカニングパーク(Fort Canning Park)は、マリナーベイ・シティ地区の都会に佇む美しい丘・公園ですが、ここにあるバトルボックスがかつての地下壕です。



the Boardroom were the original chairs used during the surrender



さて、日本軍は2月6日にシンガポールへの砲撃を開始しました。8日にはシンガポール北西部に次々と上陸しました。しかし、ここからは凄まじい反撃にあい、各地で熾烈な戦いが続きました。11日には、イギリス連合軍(オーストラリアやインド軍も参加)の水源と物資倉庫のあるブキティマを占領しようとしますが、抗日武装組織(華僑義勇軍)の決死の抵抗にあい両軍とも多くの犠牲者が出ます。そうして、日本軍はようやくブキティマを占領し、13日に山下司令官はフォード自動車工場に司令部を置きました。その後の戦いで、北部と中央部を占領しました。とうとう2月15日に、イギリス連合軍司令部が白旗を掲げて、フォード自動車工場に現れました。そこで、日本側参謀と会談を行いました。交渉はなかなか進みませんでした。降伏を1日待ってほしいと言うパーシバル司令官に対して、山下司令官は「YESかNOか?」と迫った結果、YESという答えを引き出して、シンガポールは陥落したと伝えられています。この会談を「YES・NO会談」といい、会談が行われた会議室が、そのまま残されています。

館内の展示品などですが、まず記録映画を見ます。これは、全編英語で20分ほどです。内容は、日本統治時代の記録映像や、シンガポール独立までの歩みなどです。展示品は、日本軍やイギリス連合軍が使っていた銃や刀などの武器、飯ごうやランプなどの生活用品などです。また、写真や絵や当時の新聞記事なども展示してあります。例えば、戦艦大和やゼロ戦などの絵であったり、出征時の日の丸の寄せ書きだったりです。また、「バナナノート」という日本軍が発行した軍票もありました。これは、軍が発行したお金で、10ドルにバナナの木がデザインされていることから、こう呼ばれたそうです。

それから、日本軍の占領時には、「大検証」という虐殺が行われたそうです。とても残酷な写真や絵が展示されていて、シンガポールの子供たちは社会科見学で訪れるそうですが、刺激が強くて心配になってしまいます。韓国でも、拷問など見るに堪えないものが展示されていました。シンガポールでは、日本軍は華僑の抗日分子一掃のために行った粛清ということになります。戦後、31カ所の海岸沿いから多くの人骨が出土しました。それらは、シティーホール戦争メモリアルホールの地下倉庫に納められているそうです。

その他に、抗日運動の指導者であった林謀盛や、戦前の領事館員で多くの華僑を救った日本人である篠崎護などの写真や遺品や活動の紹介もされていました。以前にもお伝えしましたが、シンガポールでは戦争について「許そうしかし忘れない」という考えです。だから、今でも謝罪を求めるといようなことはなくて、平和をいっしょに築いていきましょうという姿勢なのです。この施設の周辺は、熱帯雨林でした。



シンガポール便り 48

2015年12月10日 三好 隆志

PSA Singapore 見学



PSA(シンガポール港湾庁 Port of Singapore Authority) に、社会科見学に行きました。場所は、シンガポール港の PSA 社ビルとパシル・パンジャン・ターミナルです。PSA が用意してくれたバスに 1 クラス 1 台ずつ合計 5 台に分乗し、学校を出発しました。日本郵船 NYK から各バスに 2 名ずつが分乗して、到着までの時間に説明をしてくださいました。私のクラスのバスには、1 級航海士と地上勤務の設計士が乗られました。PSA 本社ビルに到着したら 40 階まで上がりました。それから、PSA コンテナターミナルについての紹介用 DVD を視聴し、次に日本郵船 NYK 説明用 DVD も視聴しました。それが終わると質問タイムでした。最後はトイレ休憩とともに、40 階の眺めは素晴らしいので、展望台から外の港の様子を見学しました。たくさんの船が停泊していて、順番を待っている様子や、大きなクレーンとコンテナが見えました。また、ノートやペンなどのお土産もいただきました。ビルから出たら、先ほどのバスに乗って、パシル・パンジャン・ターミナルを見学しました。コンテナ輸送の様子、自動車の駐車スペースや自動車の積み下ろしの様子を車窓から見る事ができました。

1. PSA とは…

もともとは、シンガポール港湾庁 (Port of Singapore Authority) という政府の機関でした。1996 年に、シンガポール海事港湾庁と、PSA 社に分割されました。シンガポール海事港湾庁は、船がシンガポール港に出入りするのを許可したり、いろいろな規制を行ったりしています。PSA 社は、港湾ターミナルや、その他の施設の実際の運営をしています。



2. 世界の中のシンガポール港

| 順位 | 港名 | 取扱量(万 TEU) | 前年増減(%) |
|----|--------|------------|---------|
| 1 | 上海 | 3,364 | 3.0 |
| 2 | シンガポール | 3,258 | 3.0 |
| 3 | 深圳 | 2,328 | 1.5 |
| 4 | 香港 | 2,229 | -3.8 |
| 5 | 釜山 | 1,768 | 3.9 |
| 6 | 寧波 | 1,678 | -0.4 |
| 7 | 青島 | 1,552 | 7.0 |
| 8 | 広州 | 1,530 | 3.8 |
| 9 | ドバイ | 1,364 | 2.7 |
| 10 | 天津 | 1,300 | 5.8 |

左の表を見てみましょう。これは、2013年の世界のコンテナ港のコンテナ取扱量のランキングです。シンガポールは、年間約3258万TEUのコンテナを扱う世界第2位のコンテナ港です。ただし、2009年は1位でした。

また、PSAは利便性の高い港湾で数々の賞を受賞しています。TEU (twenty-foot equivalent unit) とは、貨物の容量のおおよそを表す単位でコンテナのうち、20フィート約6mのコンテナの1個分を1TEUとします。

3. コンテナとは…

シンガポール港に行くと、四角い大きな金属製の箱がたくさん積み上げられているのを目にします。その箱が、コンテナです。大切な荷物を早く安全に運ぶために、どうしてコンテナが有効なのでしょう。積み木遊びを考えてみましょう。三角形やひし形、大きさも形もばらばらの積み木をきちんと隙間なく積み上げるのはとても難しいですね。では、積み木の大きさや形が揃っていたらどうでしょうか。とても簡単に隙間なく積み上げることができますね。輸送の場合も同じです。大きさも形もばらばらの荷物を船に隙間なく積み上げるのはたくさんの時間と労力がかかります。また、少しでも隙間があると、荷崩れを起こし、お客さんから預かった大切な荷物が壊れてしまいます。そこで、大きさや形のそろったコンテナに収納し、船に乗せることで、安全で迅速に輸送することができるのです。また、トレーラーに連結して道路を使って運んだり、貨物列車に乗せて鉄道を利用したり、利用の可能性が広がります。シンガポール港は、コンテナの積み下ろしを1年中無休、24時間体制で行っています。しかも、真夜中もお正月も港のシステムの使用料金は同じです。



4. シンガポール港の自動車輸送について

- ・ 輸入車輛数……1ヶ月4000台（世界中から）
- ・ 輸入先の国で多いのは……韓国
- ・ 韓国以外の国は……マレーシア・台湾（カローラなど）・オーストラリア（カムリなど）・タイ等の国で生産された自動車を、シンガポール港に集めます。日本車ですが、工場が東南アジア等にあるのです。
- ・ 日本からの輸入は……レクサスなどの車は日本からです。
- ・ 輸入した自動車は、どうするのでしょうか……シンガポール国内へ販売されるのは5%で残りの95%は世界中へ輸送されます。

シンガポール港には、4つのターミナルがあります。自動車輸送に使われているのは、おもにパシル・パンジャンとタンジョン・パガーのターミナルです。この2つのターミナルには高速道路がつながっていて、港の入り口と直結しています。



5. シンガポール港が世界で1, 2のコンテナ取扱量をほこるわけを考えてみましょう。

人口540万人、面積707km²のシンガポール（日本は人口約1億2800万人、面積377,900km²。日本との面積比534；1）のシンガポールが、世界で1, 2を争うコンテナ取扱量を誇る港を持っているのはどうしてでしょう。

◎**ハブ港（中継港）であること**…シンガポール港に集められた荷物の多くは、ここで仕分けられ、全世界に向けて発送されます。昔から海上輸送の要所であったシンガポールは、今も貨物の中継港としての役割を担っています。取り扱うコンテナの約8割は周辺諸国への積み替え貨物です。これに対し、日本の代表港である東京港は、貨物の8～9割以上が北米⇄日本発着で中継港としての役割はほとんどありません。

◎**手続きの簡便さ**……船の出入り、通関（税金の手続き）、貨物の積み下ろし、各種検査手続き（食品の衛生検査など）などの申告が、1回で済みます。ネットワークで管理されているので、手続きの完了まで24時間以内です。これに対し、日本の港は各種手続きに数日かかることもまれではないのです。

◎**港湾サービスのよさ**……大型コンテナ船に対応したコンテナターミナルの整備。コンテナが8000個積めるような超大型コンテナ船（全長300m以上）にも対応したコンテナターミナルを備え、365日24時間いつでも入港し着岸できます。

◎**輸送コスト、港湾使用コスト**……大型コンテナ船が着岸できるため、貨物の積み替えの回数が少なく済むので、輸送コストを低く抑えることができます。また、365日24時間港湾使用料が一律で、しかも安い（東京港の約60%）のです。

○ パシル・パンジャン・ターミナルについて



コンテナ輸送と自動車輸送用の船が停泊していました。5層（階建て）の立体パーキングと、1万台の乗用車が駐車できる平面パーキングもあります。長さ200mの船が3隻停泊でき、1隻には5000台の乗用車を積載できるそうです。冷凍コンテナ（リーファー・コンテナ）



また、冷凍コンテナもたくさんありました。中には冷凍食品、生鮮食品、化学薬品、電子部品などがあるそうです。

全貨物コンテナの約7%を占め、一般貨物コンテナに次いで数が多いコンテナだそうです。冷凍と名前が付いていますが内部温度は設定によって冷凍や冷蔵の温度に保持されます。肉や魚などは-20℃、野菜や果物は0℃前後を維持しながら通風を行い、産業用の製品で高温に弱いものを適切な温度で保持しているそうです。

また、シンガポールは、原油を輸入し精製しています。だから、タンカーもたくさん見られました。コンテナの色は、赤・青・緑・白などです。NYKの船は世界中で850隻あります。この港では、岸壁は54隻も入るそうです。そして、現在は、3,300万TEUですが、12年後にシンガポール西部を開発して移転した後は6,500万TEUにもなるそうです。PSAのスローガンは、世界経済を大きく、世界を小さく、もっと速く、もっと正確にということでした。NYKのスローガンはTo sail the worldということでした。それでは、子ども達の感想です。

「僕は、高速道路でPSAの横をいつも通っていましたが、でも、実際に中に入って話を聞いたり見たりすると、思っていたイメージと違いました。一等航海士などのビデオを見て、格好いいなと思いました。Pasir PanjangやTanjong Pagarターミナルを、12年後にはJurongに移転させると聞いて驚きました。空き地はコンドミニアムにする以外はまだ決まっていないそうです。今日の社会科見学は、とてもとても楽しかったです。」

「今日は、一等航海士の高橋さんと、地上で船の設計をしている松永さんに、バスの中で海運についての話を聞きました。約1時間、みんなの質問に丁寧に答えてくださいました。船の中では、コックさんがいたり医務室があったり個室でシャワーが付いていたりするそうです。でも、半年もずっと船の中なので、時には心の病気になる人がいるそうです。シンガポールに来て、ほとんどの人は元気だけど、日本に帰りたくなる人もいるから似ていると思いました。」

「コンテナは、英語のコンテイン含むという言葉から来ているそうです。みんなたくさん質問していました。そして、すごい質問だねとPSAの人がほめてくれました。最近、先生も成長してきたとよくほめてくれます。いろんなことを勉強して知ることは楽しいと思います。」

「ゲストティーチャーでトヨタ自動車の今井さんや国際農業開発コンサルタントの濱さんからたくさん学ぶことができましたが、PSAでも実際に見学したことで、もっとたくさん学びました。パソコンで調べるのとは大違いで、やはり実際に見たり聞いたりすることはすごく勉強になりました。今回行けて、本当に本当によかったです。」



今回は、シンガポールのお菓子作りです。シンガポールの代表的なインド・マレー・中国の3大民族を代表するお菓子です。私も、よくお菓子屋さんで買ってデザートに食べます。個人的には、ココナッツ味のマレー系が好みです。日本では、材料集めが難しいかもしれませんが、よかったら挑戦してみてください。



インドのお菓子 ^{かし}ラドゥーづくりに ^{ちやうせん}挑戦！！

【材料】

- ・ベサン（ひよこ豆の粉） 150グラム
- ・きび糖 80~90グラム（他の砂糖でも代用できますが、粉砂糖などの粒の細かいものの方がいいです。）
- ・塩（岩塩） ひとつまみ
- ・カルダモンパウダー 小さじ4分の1
- ・無塩バター（またはギー） 90グラム
- ・アーモンド 4分の1カップ

【仕上げ用】

- ・ピスタチオ てきりょう
- ・溶かしバター てきりょう

つくりかた

- ① アーモンドは軽くローストして刻んでおきます。（薄く輪切りにするように。）
- ② バターを湯煎で溶かしておきます。ピスタチオは細かく刻んでおきます。
- ③ フライパンにベサンと溶かしたバターを入れ、弱火~中火で絶えず木べらなどでかき混ぜながら炒めます。（じっくり焦がさないように。）
- ④ 全体的にきつね色になり、あまい香りがしてきたら、火から下ろします。
- ⑤ 人肌ぐらいになったら、きび糖と塩を入れて手でこねるように混ぜます。
- ⑥ 刻んでおいたアーモンドを加えます。
- ⑦ さらにカルダモンを入れて味を調整します。
- ⑧ 食べやすい大きさに丸めます。
- ⑨ お団子の一部を仕上げ用の溶かしバターに浸して刻んだピスタチオをまぶして、できあがり！



ワンポイントアドバイス

カルダモンパウダーを入れるとぐっと、インドらしい味になります。好みで量を調整してみてください。パウダーではなく、ホールで購入して、鞘から中身を出してすり潰してもいいです。



ベサン（ひよこ豆の粉）は、お豆の甘い味がほんのりするインドの食材です。ムスタファセンターなどで購入できます！



マレーのお菓子 オンデ・オンデ づくりに挑戦！！



ざいりょう 材料

白玉粉 150グラム
グラマラッカ(黒砂糖でもよい) 適宜

つくりかた

- ⑩ グラマラッカを包丁などで削ります。
- ⑪ 白玉粉に水を加えながらこね、耳たぶより少し柔らかいぐらいに仕上げます。
- ⑫ 生地を 1.5 センチぐらいに丸め、さらに、直径 3 センチぐらいに伸ばします。
- ⑬ 中にグラマラッカを入れて、閉じながら丸めます。
☆グラマラッカが溶け出すので注意！
- ⑭ 丸めたものをゆで、浮き上がってきたら少し火を弱めて 10～15分ぐらいゆでます。
- ⑮ ぬるま湯を入れておいたボールに取り、ざるにあげます。
- ⑯ ココナッツファインをまぶします。
- ⑰ できあがり！！



ワンポイントアドバイス

白玉生地に裏ごししたカボチャや抹茶を加えると、色がついて、見た目も華やかになりますよ！

中国のお菓子 パイナップルクッキーづくりに挑戦！



ざいりょう 材料

小麦粉 800グラム
バター 300グラム
砂糖 200グラム
卵 4個

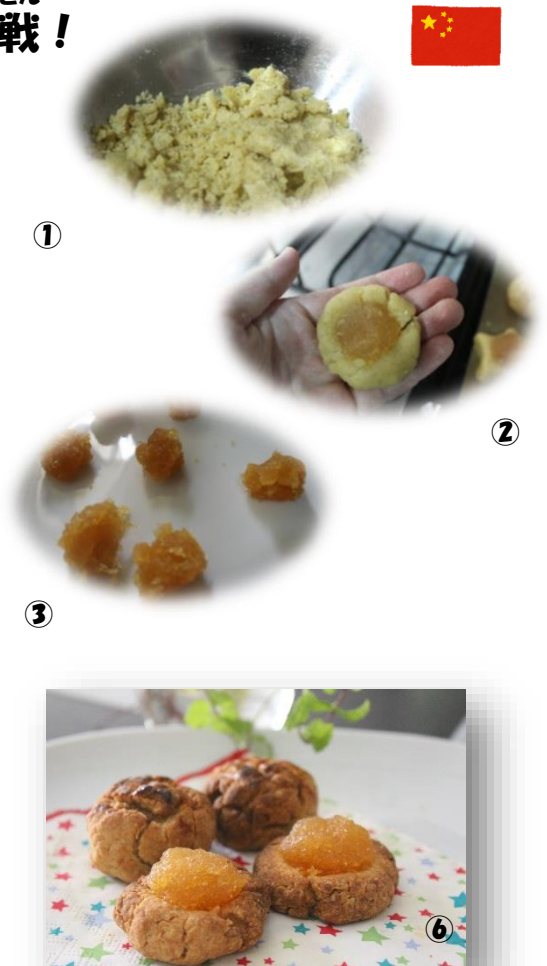
パイナップルフィリング 適宜

パイナップルフィリングは、スーパーの製菓材料コーナーに袋詰め販売されています。



つくりかた

- ① 材料をすべてボールに入れて混ぜます。
- ② パイナップルフィリングを小さく小分けにします。
- ③ 小さくまとめた生地にパイナップルフィリングを入れて丸めます。
生地だけ焼いた後に乗せてもいいです。
- ④ 生地の表面に卵黄を塗ります。
- ⑤ 180度に予熱したオーブンに入れて 15分程度焼きます。
時々様子を見て焼き具合をみてくださいね。焦げてきたらアルミホイルを被せましょう。
- ⑥ 出来上がり。手前はフィリングを後のせしたもの。

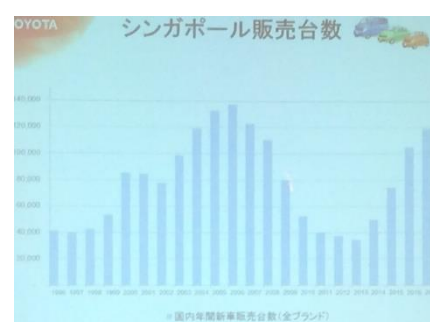


シンガポール便り 46

2015年12月 2日 三好 隆志

社会科「自動車をつくる工業」の学習では、ゲストティーチャーを招いて授業を行いました。教えていただいたのは、TOYOTAの東南アジア地域サービス部門を担当されておられる方でした。初めに仕事内容を簡単に説明いただき、世界各国で利用されている自動車や、お客さんへのサービスについて、スライドをもとに紹介していただきました。その後は、私との対話形式で事前に聞いておいた子どもたちの質問にお答えいただきました。ブレーキパッドやオイルフィルターなど、実物を触りながら話を聞くことで、より自動車を身近に感じ、進んで学ぶことができました。「お客様の喜びが、私たちの喜びとなり、そしてお客様の笑顔へとつながっていく。私たちは、そういうサービスをずっと追いかけています。」相手のことを第一に考えて接する姿勢に、子どもたちも胸を打たれたようでした。では、具体的なことをいくつか紹介します。

まず、東南アジア地域ということですが、担当しておられる国は、インド・インドネシア・カンボジア・シンガポール・タイ・台湾など17カ国もあり、ずっと出張が続くそうです。次に、シンガポールでの年間自動車販売数は、2014年が約5万台だったそうです。実は、シンガポール政府が販売台数は管理していて、自動車のプレートを取得するのに現在は550万円もかかるそうです。そして、車自体の値段と税金がかかりますから、カラークラスが1,000万円くらいになってしまうわけです。ところが、このプレートの有効期間は10年だけなので、10年ごとに自動車販売数のグラフは、同じ形を繰り返すことになります。以上のことから、シンガポールでは自動車は財産として富の象徴となっています。また、この10年というしほりにより、車の寿命は10年が原則となっているようです。さて、5万台の内、日本車の占める割合ですが、去年は3分の1だったそうです。また、トヨタは7,500台販売し、カラーやカムリがよく売れる車だそうです。シンガポールでは、あまり見ませんがインドネシアなどでは、その国だけしか作っていない車があるそうです。それは、その国の文化や気候とマッチさせるからで、例えばインドネシアでは暑い中を渋滞してエアコンが壊れないもの、たくさん積むことができるものといった感じです。事故については日本は5%つまり20年に1回しか起こらないのに、東南アジアは極めて高く、ベトナムでは30%つまり3年に1回くらいも事故に遭うということでした。



シンガポール便り 43

2015年11月20日 三好 隆志



以前、シンガポールの水道は、安全でそのまま飲むことができるとお伝えしました。実際に、水筒のお茶を飲みほした子ども達は、ウォータークーラーの水を飲んでいますが、シンガポールの水は、日本と同じ軟水です。日本よりは多少、硬度が高いですが、欧米の水道水に比べると硬度が低く、飲みやすいようです。ただし、いくら軟水といっても、日本より硬度が高いので、飲み過ぎると下痢を起こす可能性もあります。ちなみに軟水というのは、ミネラル

分が少ない水のことで、お風呂で使用した場合、石鹸の泡立ちが良く、肌もツルツルになるという特徴を持っているそうです。一方、硬水というのは、ミネラル分が多い水のことで、お風呂で使用した場合、石鹸の泡立ちが悪く、髪を洗うとキシキシするそうです。ちなみにシンガポールの水道水はフッ素が日本の4倍くらい混入されているため、水道水で歯を磨き続けると歯がきれいになり、虫歯の予防にもなります。また、塩素も少しきついような感じで、頭をシャンプーしていると、抜け毛が気になるという人もいます。早速、シャワーにも浄水器をつけたそうです。さて、我が家の前には、ブドック貯水池があります。実は、大きな川のないシンガポールでは、自然水を貯水池で需要の2/3までカバーしているそうです。海側に面した最新の貯水池は海を隔てるダムが建設され淡水化されていったそうです。観光客が多く訪れるマリーナベイ・サンズが面している水辺マリーナベイもまたそのうちの一つです。そして、足りない部分は、マレーシアから買っているわけです。

写真の横断歩道ですが、片道ずつあってずれています。これは、道路が広いので、20秒では高齢者などは渡り切れないためです。片道ずつ信号が異なっています。

次の写真は、100円ショップのダイソーです。値段は日本の2倍もしますが、手軽に日本と同じような物が手に入るため、たくさんの方が利用しています。私も、老眼鏡とかウエットティッシュなどを買いによく訪れています。地図を見ますと、東南アジア中心にたくさん出店しているようです。



シンガポール便り 42

2015年11月18日 三好 隆志

| 10月8日(木)・2日目 | |
|--------------|---|
| 7:00 | 起床、身支度、荷物整理 |
| 7:30 | テント設営、朝の集い |
| 9:00 | 朝食 (ジャングルブレイクファスト) |
| 10:15 | ズーウォークラリー |
| 11:45 | 昼食 |
| 12:30 | 森の生物飼育場所の裏側ツアー A「動物の健康管理」 B「驚きの無せぎつい動物」 |
| 13:45 | 退所式 |
| 14:00 | 荷物移動 |
| 14:20 | 出発 |
| 15:15 | 学校着 到着式 |
| 15:40 | 通学バス下校 |



2日目も、大気汚染の指数は100を切って、安心して野外活動ができました。実は、この翌日から、また1カ月以上煙害は続き、結局2学期になって初めて水泳ができたのは何と11月になってしまいました。さて、昨夜はスコールでテントが立てられなかったため、急遽朝の時間に立ててみることになりました。子ども達は、少しの時間だったけれども、友達とテントの中で過ごすことができ喜んでいました。



それから、朝のつどいです。運動会で踊ったソーラン節を披露して、動物園のスタッフは、盛んに写真を撮っていました。朝食は、オランウータンも一緒に食べるジャングルブレイクファストでした。バイキングスタイルで、たくさんの食べ物があり豪華でした。お腹いっぱい元気いっぱいになったら、次は日本人学校独自のプログラム「ウォークラリー」です。この動物園宿泊学習は、ローカル校にも大人気で、プログラムもしっかり確立しています。しかし、このような学校独自のプログラムで、動物園スタッフの力を借りないプログラムは珍しいようです。私たちは、事前に計5回もの下見や事前打ち合わせをしていました。そして、子ども達を5人ずつのグループに分け、5つのポイントを規定時間内で回るミッションを与えたわけです。白クマやコアラといった、決められた5つのポイントには教員がいて、その動物についての問題が与えられました。掲示された説明に載っているの、英語の得意な子どもを中心にみんなで解いて回りました。この活動が一番楽しかったという子どもも多かったようです。昼食は、フォレストロッジでシンガポール名物のチキンライスでした。メロンやスイカやパイナップルなどのフルーツがおいしく、何度もおかわりする子どももいました。午後は、昨日の「森の裏側ツアー」を交替して行いました。この活動の最後に、またスコールがきました。それで、退所式はとでも慌ただしいことになりましたが、お世話になった動物園のスタッフに、心を込めて感謝



の言葉を伝えることができました。学校には、予定時間通り到着して、終わりの式をしました。ここでも、実行委員が司会などを担当し、感想も自分の言葉できちんと話すことができました。それでは、子ども達の感想です。

「雨が降ってきたので、カッパを着て急いで帰っていた時のことです。オランウータンの前を通っていると、何と自分たちで毛布をかぶってちょこんと座っていました。すごく驚きました。」



「絶滅危惧種が発生する理由は、人間が森を焼くからです。機械より安い火を利用して森を焼き、田畑を荒らす動物を殺し自分たちの穀物を育てるためです。木は、私たちのために酸素を作り、二酸化炭素を吸収します。木を焼いてしまうと空気を汚染し動物たちは森に住めなくなります。また、都市化が進むと、動物たちの住む場所が収縮します。このままだと、地球温暖化や海面上昇などの現象がおきます。同じ星に住む、他の動物がかawaiiそうです。だから、私たちはたくさんのお木を植林しなければならないと思います。」



「私は、ウォークラリーが楽しかったです。なぜかと言うと、5人でいろんなミッションを達成できたからです。1番難しかったのは、宮嶋先生のトラの問題でした。おもしろくて簡単な問題は、三好先生の所でした。内容は、チンパンジーと写真を撮って、先生にサインをもらう事でした。写真を撮る時に、私はにっこりと笑いました。まるで、夢の世界にいるかと思いました。」



「シャワーから出ると、大事件が起きました。雨が降り始めたのです。その時は、まだテントを作ってませんでした。つまり、荷物がびしょぬれになってしまいます。オーディトリウムで待っていると、何と荷物が運ばれてくるではありませんか。車からの荷物を、ぼくは一生けんめい運びました。全部運び終わると、自分の荷物を見つけに行きました。そんなにはぬれていませんでした。これも、みんなテントサイトに行っていた人たちのおかげです。ぼくの心は、その人たちへの感謝の気持ちでいっぱいでした。」



「テントでみんなと眠るのが、1番楽しみでした。しかし、翌朝テントを立てた時に、近くの動物のにおいがくさくて地面は固く痛かったから、室内でも良かったかなと思いました。ぼくは、講義であまり英語が分からなかったから、次にこんな機会があったら、英語が分かるようにがんばりたいです。」



「ぼくが、野外活動で印象に残った事は、トラの毛皮にさわったことです。それは、講義の時に手を挙げたのが運良当たったからです。毛皮は、ちょっとさらさらしていて、舌はざらざらしていました。だから、思わず「いタイガー。」と言ってしまいました。父の実家では犬や猫を飼っていますが、さわり心地は違いました。トラにさわるとは、一生ないかもしれないので、いい経験になったなあと思いました。」



「えさ工場に行きました。アシカに食べさせる魚は、ちょっと工夫していました。それは、魚のえらを開けて、サプリメントを入れるのです。それで、頭が良くなるそうです。野外活動は、三泊くらいしたいほど楽しかったです。」

「夜は、夜行性動物探しに行きました。ムササビをたくさん見ました。めずらしいトカゲやカエルなどを

見ることができました。真っ暗な中なので、少し怖かったです。」



シンガポール便り 41

2015年11月17日 三好 隆志

続いて午後の活動の様子です。昼食の後、ナイトサファリから動物園のオーディトリウムに移動し、絶滅危惧種について講義を受けました。それは、100年前までは年に1種しかなかった絶滅速度が、現在は年に40,000種もあるというのです。現在、人間が知っている種は175万種ですから、このままでは後50年ほどで生物がいなくなってしまうでしょう。なぜ、そういうことになっているのでしょうか。まず、森林火災があります。シンガポールでは、隣国インドネシアの焼き畑農業で、深刻な大気汚染にもあっています。環境汚染も原因の一つです。また、人間が角や牙や毛皮などを得るために捕まえてしまうことも原因です。講義は、全て英語ですが、子どもたちは真剣に聞いていました。



キャンプサイトに荷物を移動させてから、森の裏側ツアーに出かけました。これは、ふだんは入れない部屋を回ります。例えば、動物病院であったり、餌を作る台所であったり、貴重な生物の繁殖室であったりします。これを、2つのコースに分けて、2日目の午後とで全部見学しました。例えば、餌作りでは、サルの餌であるおにぎりを作ったり、アシカに魚の餌を作ったりしました。魚のえらにサプリメントを入れることを知りました。また、貴重な生物の繁殖室では、珍しい蝶の幼虫や大ゴキブリに触ってみました。気持ち悪いと言いつつもがんばって触っていました。次は、楽しみにしていたアシカショーです。ほとんどの子どもが、カップを着て前列で見ました。それは、アシカが水をかけてくれるからです。大満足して、シャワーを浴びに行きました。ところが、ここでスコールが降ってきました。大急ぎでびしょ濡れになりながら荷物を部屋の中に避難させました。結局テントはあきらめ、講義室で寝ることになりました。夕食は、何とバイキングです。寿司やアイスやケーキまであって大満足でした。



その後は、夜行性動物についての講義を受けて、実際に懐中電灯を照らしながら、夜の動物園を散策しました。テントでは寝られなかったけれど、エアコンの効いた大きな部屋で、寝袋に入ってみなんと寝たのもいい思い出になりました。

シンガポール便り 40

2015年11月16日 三好 隆志

さて、野外活動1日目午前中の様子です。まず、学校のホールで出発式をしました。それから、バス5台に分乗してシンガポール動物園まで行きました。高速道路で約40分、昨日まで1カ月以上続いていた大気汚染が、嘘のように晴れて青空が見えました。動物園では、まずリバーサファリのクラスルームに入って、入所式を行いました。各クラスから2名ずつの野外活動実行委員が、それぞれ分担してこのような場面でのあいさつを日本語や英語で行いました。



次は、早速「水の中での防衛」という講義に入りました。攻撃は最大の防御と、牙などで戦う生き物や毒をもって防御する生き物などが紹介されました。いよいよ、リバーサファリのツアーに出かけます。6つのグループに分かれて、それぞれスタッフがガイドになって回りました。1tもあるジュゴンや、パンダを見つけては歓声が上がりました。



途中で、アマゾンリバークエストという船の旅にも行きました。滝があって落ちるスリルを味わったり手が届くほどに近い岸辺の生き物に感動したりしていました。お腹がすいてきた頃、ナイトサファリのウルウルビュッフェに移動して、昼食をとりました。昼間は観客がいないため、貸し切りでゆっくりできました。

| 10月7日(水)・1日目 | |
|--------------|---|
| 8:00 | 登校 |
| 8:30 | 移動 |
| 8:40 | 出発式 |
| 8:50 | 出発 |
| 9:30 | 到着 入所式 |
| 10:00 | 水中生物の生態について 講義「Defense in a Watery World (水の中での防衛)」 |
| 10:50 | リバーサファリガイドツアー &アマゾンリバークエスト ①「流れゆく川：ミシシッピ川からメコン川へ」 ②「長江の宝物」 ③「驚きのアマゾン」 |
| 12:15 | 昼食 |
| 13:00 | 絶滅危惧種について 講義「Endangered Animals」 |
| 14:30 | 森の生物飼育場所の裏側ツアー A「驚きの無せきつい動物」 B「動物の健康管理」 |
| 16:00 | 休憩、荷物移動 |
| 17:00 | 鑑賞 「アシカのスプラッシュ・サファリショー」 |
| 17:30 | シャワー |
| 18:30 | 夕食 |
| 19:30 | 夜行性動物について 講義「Wonders of the Night Critters」 |
| 20:30 | 夜行性動物探し |
| 21:30 | 休憩、就寝準備 |
| 22:00 | 消灯 |



シンガポール便り 39

2015年11月15日 三好 隆志

5年生は、動物園に宿泊学習に行きました。その様子をお伝えしましょう。日本では、4年生で山の学校、5年生で海の学校、そして6年生が修学旅行と宿泊学習があります。シンガポール日本人学校では、4年生の宿泊学習はありません。5年生が、シンガポール動物園に1泊し、6年生はインドネシアのバリ島に2泊します。

さて、まず目的です。

- ・規律ある集団生活や体験学習を通して、協力し合い、友情を深めていくことで、学び合いの心と態度を育てる。
- ・動物に関する学習を通して、自然に親しむ心や自然を大切にすることを育てる。
- ・英会話や外国語活動で培った英語を用い、動物園での学習活動やスタッフとのコミュニケーションを図る中で、さらに英語に関する興味関心を高め、慣れ親しませる。

1 事前学習

子どもたちは、目的3の英語力を高めるため、週に1度の外国語活動と2度の英会話の授業を通して、事前学習を行いました。まず、動物園やリバーサファリにいる動物の名前を覚えるため、カルタや神経衰弱を行いました。また、動物園のスタッフとのやりとりを、劇にして班ごとに発表しました。そして、動物のいる場所を、地図上で確認していきました。

2 動物園の概要

シンガポール動物園は、1973年にオープンしました。広さは、28haもあります。学校で考えたら、運動場30個分くらいです。現在は、約320種類・3000頭を超える動物たちがいます。この動物園の最大の特色は、檻や柵がない状態で動物を見せてくれることです。植え込みや水路をうまく利用して、人間と動物のゾーンを自然に分けているのです。それで、自然に近い感覚で、間近に動物たちを見ることが出来ます。また、隣接してナイトサファリが1994年に、リバーサファリが2013年に開園し、3つで80haもの広さを誇る巨大な施設ができ上がったわけです。もちろん、シンガポール観光の目玉で年間300万人も訪れるそうです。

